Colorio

インクジェットプリンタ（複合機）

PM-T960

ネットワーク設定ガイド

本製品をネットワークに接続して使用するための手順を説明しています。
ご使用の前には必ず『準備ガイド』と『操作ガイド』−「製品使用上のご注意」をお読みください。

セットアップ手順

—— 本書は製品の近くに置いてご活用ください。——

マークの意味

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。

参考　補足説明や制限事項、および知っておくと便利な情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の標記

Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition/ Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista™ Operating System 日本語版

本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ「Windows 98」「Windows Me」「Windows 2000」「Windows XP」「Windows Vista」と表記しています。
また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista を総称するときは「Windows」、複数の Windows を併記するときは「Windows 98/Me」のように、Windows の表記を省略することがあります。

Mac OS の標記

本製品は、Mac OS X v10.2.8以降に対応しています。
本書中では、上記を「Mac OS X」と表記しています。

商標

Apple、Macintosh、Mac、Mac OS、Bonjour は Apple Inc. の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。
その他の製品名は各会社の商標または登録商標です。
EPSON Scan はセイコーエプソン株式会社の商標です。
EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

知的財産権

This product incorporates intellectual property owned by Microsoft Corporation and cannot be made, used, sold, offered for sale,imported, or distributed without a license from Microsoft Corporation. Making, using selling, offering for sale, importing or distributing such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft Corporation. We don't grant any such license rights. To obtain license rights from Microsoft, Customer must contact Microsoft at the following web address: IPLG@microsoft.com, and reference ‘WCN License.’

参考訳（本訳文は参考目的に作成したものであり、詳細は上記原文をご確認ください。上記原文と本訳文との間に矛盾がある場合、上記原文の内容が優先します。）
本製品にはマイクロソフトコーポレーションが所有する知的財産権が組み込まれており、マイクロソフトコーポレーションの許諾なしに本製品を製作、販売、輸入または頒布等を行うことはできません。マイクロソフトコーポレーションの許諾なしに本製品以外に当該技術を利用、輸入または頒布等を行うことは禁止されています。当社はこれらの権利に関して一切利用許諾は行いません。マイクロソフトコーポレーションより当該利用許諾を受けるには、お客様はマイクロソフトコーポレーションの WEB サイト（IPLG@microsoft.com）にアクセスし、"WCN License" を参照してください。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

準備の流れ

本製品を使用可能な状態にするまでに必要な作業の流れを説明します。

1 本体の準備 『準備ガイド』
インクカートリッジをセットして、本製品を使用可能な状態にします。

2 接続方法の確認 4 ページ
プリンタとパソコンの接続方法を確認します。
※無線 / 有線のネットワーク接続を同時に利用することはできません。

無線 LAN 接続　　有線 LAN 接続

3 ネットワーク情報の確認 6 ページ
ネットワーク接続に必要な情報（各種アドレスなど）を確認します。

4 操作パネルの基本操作 8 ページ
ネットワーク設定に必要なパネルの基本操作を覚えます。

5 ネットワークの基本設定 9 ページ
TCP/IP、DNS サーバ、プロキシサーバの設定をします。

6 無線 LAN の設定 12 ページ
無線 LAN の設定をします。

7 接続状態の確認 18 ページ
ネットワーク接続状態を確認します。

8 ソフトウェアのインストールとパソコンの設定 19 ページ
プリンタドライバやスキャナドライバなど各種ソフトウェアをインストールします。
また、パソコンの設定をします。

接続方法の確認

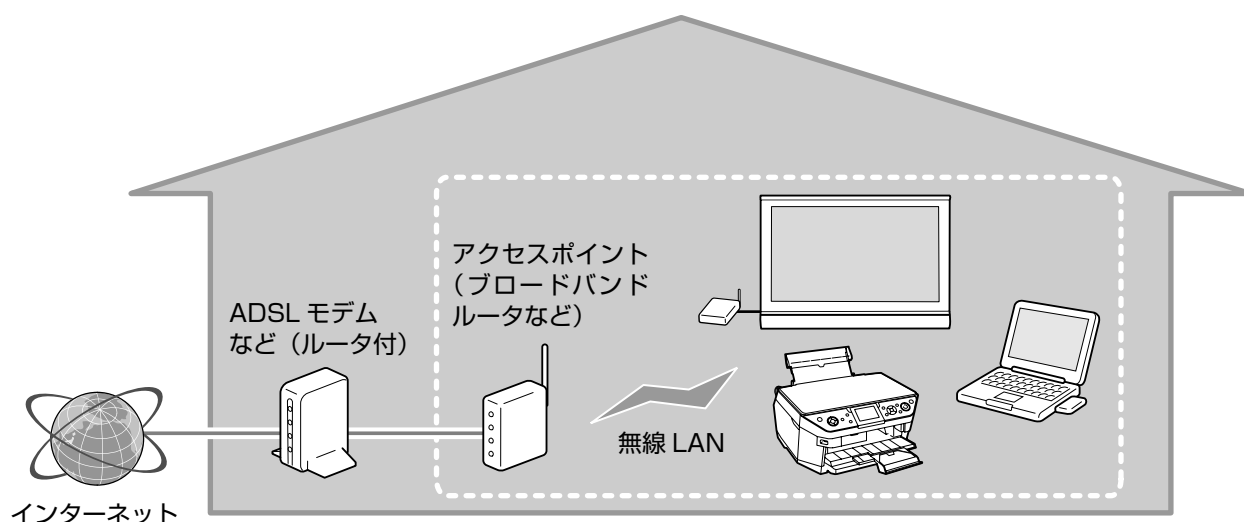
参考

- 本書中で使用されているネットワーク用語を巻末の用語解説で説明しています。
  40 ページ「ネットワークの基礎知識」

本製品は、以下の方法でパソコンと接続できます。
お使いのパソコンの環境を確認して、どの接続方法を使用するか決めてください。

- 無線 LAN で接続　4 ページ
- 有線 LAN で接続　5 ページ

無線 LAN で接続

本製品は、アクセスポイントを経由する無線 LAN（インフラストラクチャモード）環境に接続できます。以下の環境が整っているか確認してください。
本製品に Ethernet（LAN）ケーブルが取り付けられているときは取り外してください。
『操作ガイド』（紙マニュアル）－「ケーブルの取り付け / 取り外し」

機材	説明
アクセスポイント	IEEE802.11b/g に対応した製品が必要です。
パソコン	アクセスポイントに無線 LAN または有線 LAN で接続されている必要があります。
デジタルテレビ	プリント機能を搭載している必要があります。また、無線接続させて使用するときは無線アダプタが必要です。

参考

- 本製品は、アクセスポイントを経由せずに無線 LAN デバイス同士で接続するアドホックモードでも使用できます。アドホックモードでの使用方法は、以下をご覧ください。
  『ネットワーク詳細設定ガイド』（電子マニュアル）

無線 LAN 接続の設定の流れ

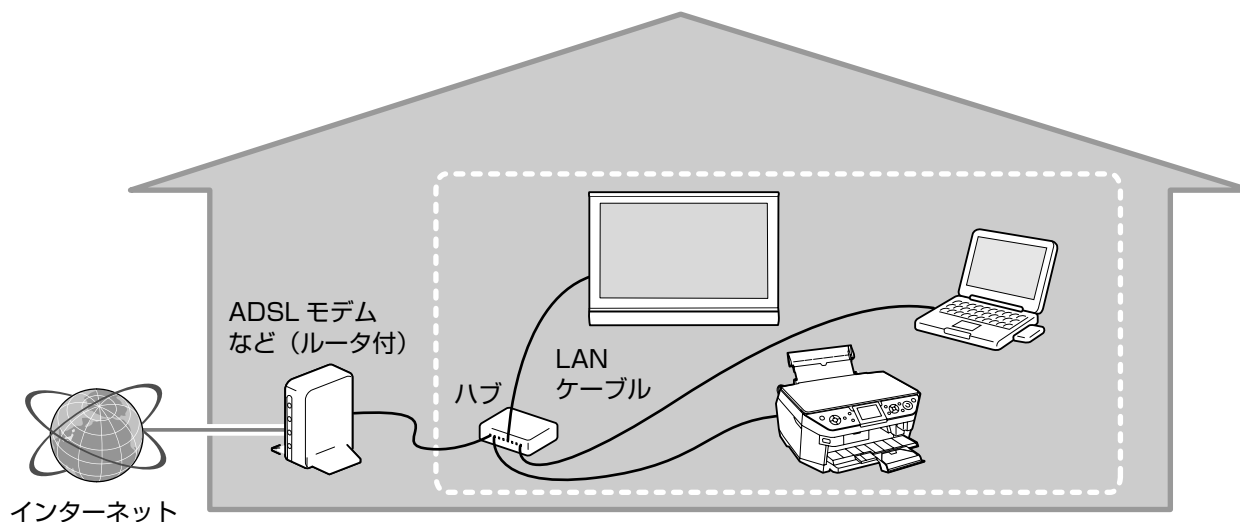
無線 LAN 環境の確認ができたら、以下の流れで設定します。

1. ネットワーク情報の確認　6 ページ
2. 操作パネルの基本操作　8 ページ
3. ネットワークの基本設定　9 ページ
4. 無線 LAN の設定　12 ページ
5. 接続状態の確認　18 ページ

有線 LAN で接続

本製品は、LAN ケーブルを使用してネットワーク環境に接続できます。以下の環境が整っているか確認してください。

本製品に Ethernet（LAN）ケーブルが取り付けられていないときは取り付けてください。

『操作ガイド』（紙マニュアル）－「ケーブルの取り付け / 取り外し」

機材	説明
ハブ（HUB）または ブロードバンドルータ	各機器の LAN ケーブルを接続するハブ（HUB）が必要です。 アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）にハブ機能が搭載されているときは、アクセスポイントにも接続できます。
パソコン	有線 LAN もしくはブロードバンドルータ機能搭載アクセスポイントの無線 LAN で接続されている必要があります。
デジタルテレビ	プリント機能を搭載している必要があります。

有線 LAN 接続の設定の流れ

LAN ケーブルの接続が完了したら、以下の流れで設定します。

1. ネットワーク情報の確認　6 ページ
2. 操作パネルの基本操作　8 ページ
3. ネットワークの基本設定　9 ページ
4. 接続状態の確認　18 ページ

以上で「接続方法の確認」の説明は終了です。

ネットワーク情報の確認

本製品をネットワークに接続するために必要な情報を、確認してメモします。

無線 LAN 環境のみ必要な情報

アクセスポイントの取扱説明書をご覧になって、以下の項目を確認してください。なお、AOSS 機能または WPS 機能を使用してセキュリティを自動設定するときは、以下の項目の確認は不要です。

項目	以下の欄にメモしてください
SSID（ネットワーク名）	
暗号化方式（セキュリティ）	□ WEP-64bit（40bit）/ □ WEP-128bit（104bit） □ WPA-PSK（TKIP）/ □ WPA-PSK（AES）*1
WEP キー / パスワード	
WEP キー No. *2	□ 1　□ 2　□ 3　□ 4

＊ 1：WPA2 規格に対応
＊ 2：「1」以外を選択したときは EpsonNet Config で設定

参考

- アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）の設定によっては、通信できる機器を制限する MAC アドレスフィルタリングを設定しているときがあります。そのときは、操作パネルの［ネットワーク情報確認］で MAC アドレスを確認し、アクセスポイントに登録して、通信を許可しておいてください。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
☞31 ページ「ネットワーク設定の確認とステータスシートの印刷」
- ネットワークに Apple AirMac ベースステーションが設定され、WEP HEX や WEP ASCII 以外のパスワードを使用してネットワークにアクセスするときには、該当する WEP キーを入力する必要があります。詳しくは、Apple AirMac ベースステーションの取扱説明書をご覧ください。

IP アドレスを手動設定する際に必要な情報

DHCP 機能を使用して IP アドレスを自動割り当てしているときは、以下の項目の確認は不要です。

項目	以下の欄にメモしてください
本製品に割り当てる IP アドレス	＿＿＿ . ＿＿＿ . ＿＿＿ . ＿＿＿
サブネットマスクアドレス	＿＿＿ . ＿＿＿ . ＿＿＿ . ＿＿＿
デフォルトゲートウェイアドレス	＿＿＿ . ＿＿＿ . ＿＿＿ . ＿＿＿

参考

- デフォルトゲートウェイは、アクセスポイントの「LAN 側の IP アドレス」を設定してください。
- 本製品の IP アドレスは自動取得できます。

デジタルテレビと接続して印刷サービスを利用する際に必要な情報

本製品とデジタルテレビなどを接続して、データ放送の情報やインターネット上のコンテンツを印刷できます。
本製品をインターネット環境に接続するために必要な情報を確認します。

項目	以下の欄にメモしてください	
DNS サーバアドレス	プライマリ	＿＿＿＿＿.＿＿＿＿＿.＿＿＿＿＿.＿＿＿＿＿
	セカンダリ	＿＿＿＿＿.＿＿＿＿＿.＿＿＿＿＿.＿＿＿＿＿
プロキシサーバアドレス	アドレス	
	ポート番号	

参考

- ご利用のインターネット接続環境によって､接続に必要なアドレスの種類が異なります。すでにインターネットに接続している機器の設定やプロバイダから配布されている資料などを確認してください。

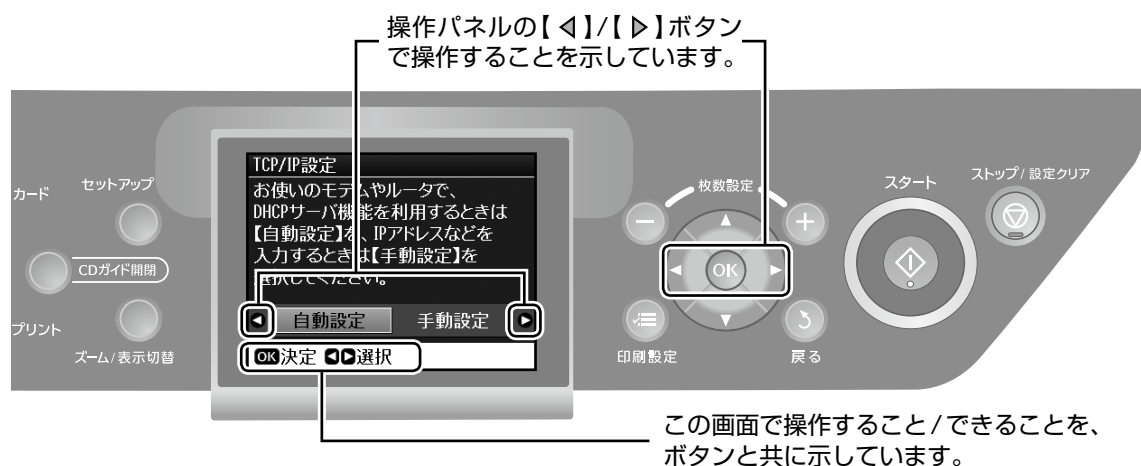
以上で、「ネットワーク情報の確認」の説明は終了です。

次にネットワークの設定をするための、操作パネルの使い方を説明します。
次ページへお進みください。

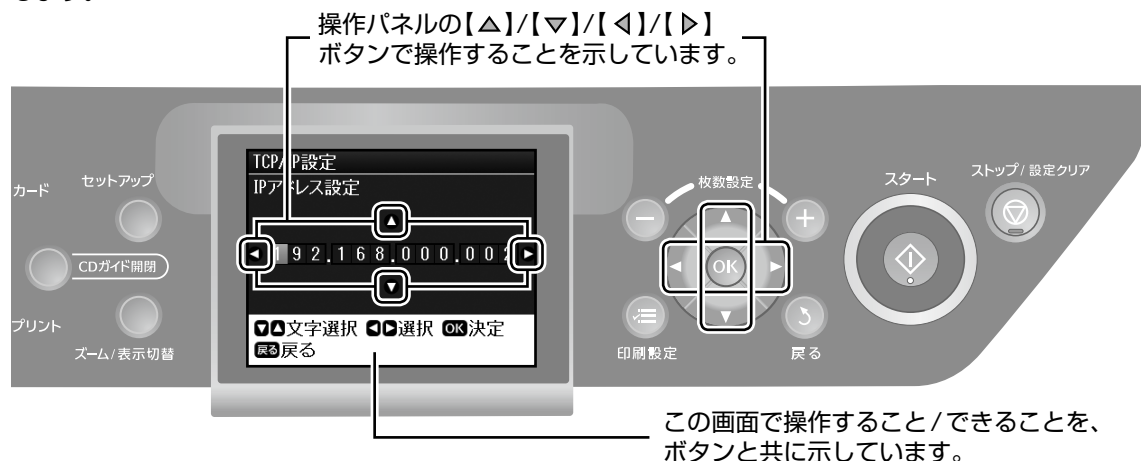
操作パネルの基本操作

ネットワークの設定作業に必要な操作パネルの基本操作を説明します。

項目選択

液晶ディスプレイの画面で項目や設定値を選択するときは、画面右側のボタンを操作します。

ボタン	説明
【△】【▽】【◁】【▷】	項目や設定値を選択するときなどに使用します。
【OK】	選択 / 変更した設定を有効にします。
【戻る】	ひとつ前の画面に戻ります。

文字入力

液晶ディスプレイの画面で文字を入力するときは、画面右側のボタンと左側の【ズーム / 表示切替】ボタンを操作します。

ボタン	説明
【△】【▽】	文字を選択します。
【◁】【▷】	入力欄を選択します。
【−】	文字を消去します。
【ズーム / 表示切替】	文字の種類（英字の大文字 / 小文字、数字）を切り替えます。
【OK】	選択 / 変更した設定を有効にします。
【戻る】	ひとつ前の画面に戻ります。

ネットワークの基本設定

ネットワーク接続に必要な、プリンタ名、TCP/IP、DNS サーバ、プロキシサーバの設定をします。

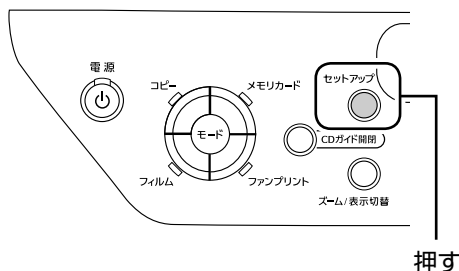
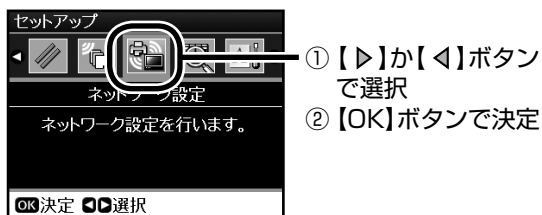
1 本製品の電源がオンになっていることを確認します。

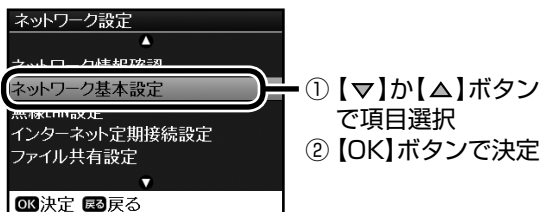
！重要

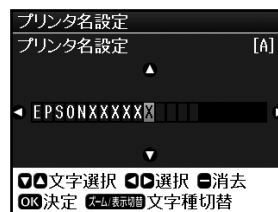
- 操作パネルの設定中に電源をオフにしたりコンセントを抜いたりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるおそれがあります。
- メモリカードアクセス中にネットワーク設定をすると、アクセスが中断されることがあります。

2 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

3 ［ネットワーク設定］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

4 ［ネットワーク基本設定］を選択します。

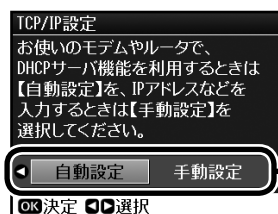
① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

5 プリンタ名を確認します。

プリンタ名は、ネットワーク上で本製品にアクセスまたは識別する際に必要な情報です。

① 【OK】ボタンで決定

参考

- 初期設定は［EPSONXXXXXX］（X は MAC アドレスの下 6 桁）になっています。プリンタ名を変更するときは、文字を入力し直します。
☞11 ページ「プリンタ名の変更」

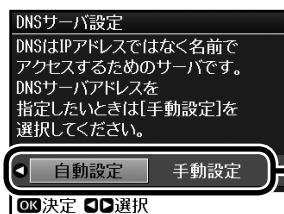
6 TCP/IP を設定します。

ここでは［自動設定］を選択します。
ご利用のアクセスポイントやブロードバンドルータに搭載の DHCP サーバによる IP アドレス自動取得機能を有効にしているときは、［自動設定］を選択すると簡単に設定できます。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

参考

- 本製品に固有の IP アドレスを割り当てるときは、［手動設定］を選択して、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］のアドレスを入力します。
☞11 ページ「TCP/IP の手動設定」

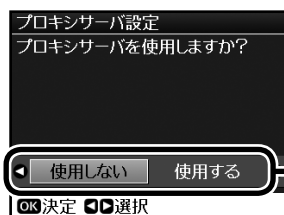
7 DNS サーバを設定します。

ここでは［自動設定］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

参考

- DNS サーバアドレスを指定するときは、［手動設定］を選択して、［プライマリ DNS サーバ］、［セカンダリ DNS サーバ］のアドレスを入力します。
☞11 ページ「DNS サーバの手動設定」

8 プロキシサーバを設定します。

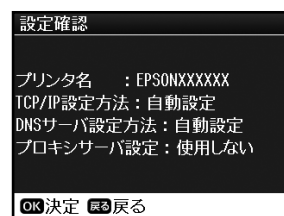
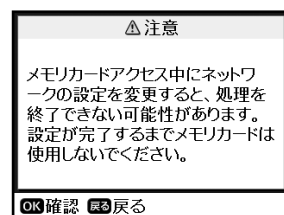
ここでは［使用しない］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

参考

- プロキシサーバを使用するときは、［使用する］を選択して、［プロキシサーバ］のアドレスと［ポート］を入力します。
☞11 ページ「プロキシサーバの手動設定」

9 設定内容を確認します。

① 【OK】ボタンで決定

⚠注意
メモリカードアクセス中にネットワークの設定を変更すると、処理を終了できない可能性があります。設定が完了するまでメモリカードは使用しないでください。
確認　戻る

② 【OK】ボタンで確認

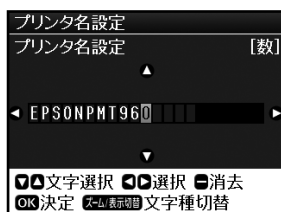
以上で、「ネットワークの基本設定」の説明は終了です。

ご利用の環境に合わせて以下のページへお進みください。

- 無線 LAN 接続
☞12 ページ「無線 LAN の設定」
- 有線 LAN 接続
☞18 ページ「接続状態の確認」

ネットワーク情報の手動設定

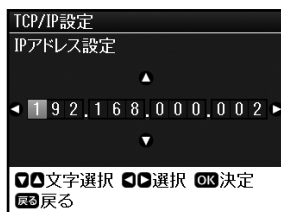
プリンタ名の変更

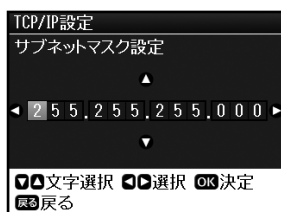
プリンタ名を変更するときは、9 ページの手順 5 で文字を入力し直します。

① 【▽】か【△】ボタンで文字選択
- 【－】ボタンで文字消去
- 【ズーム / 表示切替】ボタンで文字種切替

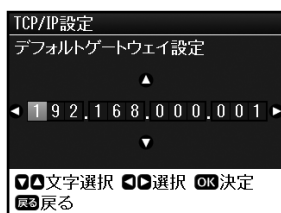
② 【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③ 【OK】ボタンで決定

TCP/IP の手動設定

TCP/IP を手動で設定するときは、9 ページの手順 6 で［手動設定］を選択して、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］のアドレスを入力します。

＜ IP アドレス＞

① 【▽】か【△】ボタンで数字選択
② 【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③ 【OK】ボタンで決定

＜サブネットマスク＞

① 【▽】か【△】ボタンで数字選択
② 【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③ 【OK】ボタンで決定

＜デフォルトゲートウェイ＞

① 【▽】か【△】ボタンで数字選択
② 【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③ 【OK】ボタンで決定

DNS サーバの手動設定

DNS サーバを手動で設定するときは、10 ページの手順 7 で［手動設定］を選択して、［プライマリ DNS サーバ］、［セカンダリ DNS サーバ］のアドレスを入力します。

＜プライマリ DNS サーバ＞

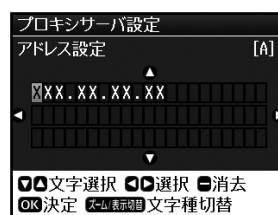
① 【▽】か【△】ボタンで数字選択
② 【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③ 【OK】ボタンで決定

＜セカンダリ DNS サーバ＞

① 【▽】か【△】ボタンで数字選択
② 【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③ 【OK】ボタンで決定

プロキシサーバの手動設定

プロキシサーバを使用するときは、10 ページの手順 8 で［使用する］を選択して、［プロキシサーバ］のアドレスと［ポート］を入力します。

＜プロキシサーバ＞

① 【▽】か【△】ボタンで文字選択
- 【－】ボタンで文字消去
- 【ズーム / 表示切替】ボタンで文字種切替

② 【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③ 【OK】ボタンで決定

＜ポート＞

① 【▽】か【△】ボタンで数字選択
② 【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③ 【OK】ボタンで決定

無線 LAN の設定

無線 LAN のセキュリティを設定して、アクセスポイントに接続します。
本製品は、以下の方法で無線 LAN の設定ができます。

■無線 LAN を手動で設定

6 ページでメモをとった無線 LAN のセキュリティを手動で設定します。
☞12 ページ「無線 LAN 手動設定」

■AOSS 機能で無線 LAN を自動設定

お手持ちのアクセスポイントが株式会社バッファロー製品で AOSS 機能に対応しているときは、セキュリティを自動で設定できます。
☞14 ページ「AOSS 無線 LAN 自動設定」

■WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能で無線 LAN を自動設定

お手持ちのアクセスポイントが WPS(Wi-Fi Protected Setup)規格に対応しているときは、セキュリティを自動で設定できます。
☞16 ページ「WPS 無線 LAN 自動設定」

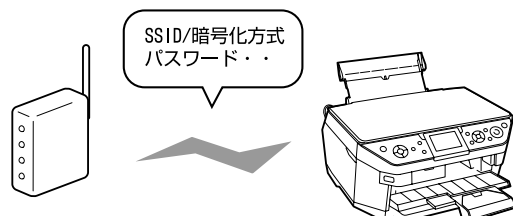
！重要

- 無線 LAN を使用するときは、WEP または WPA などのセキュリティを設定してください。セキュリティで保護されていないネットワークでは、不特定の第三者の無線傍受などにより、お客様のデータが漏洩するおそれがあります。
- 操作パネルの設定中に電源をオフにしたりコンセントを抜いたりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるおそれがあります。
- メモリカードアクセス中にネットワーク設定をすると、アクセスが中断されることがあります。
- 無線 LAN 設定を［有効］にすると、有線 LAN では使用できません。

参考

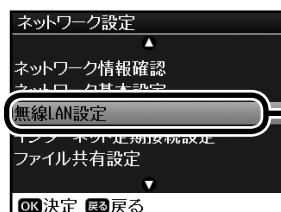
- 本製品は WCN（Windows Connect Now）機能でも設定できます。詳細は以下をご覧ください。
  ☞『ネットワーク詳細設定ガイド』（電子マニュアル）

無線 LAN 手動設定

先ほどメモした無線 LAN のセキュリティ情報を手動で設定します。

①無線 LAN 環境の確認

1 「ネットワーク情報の確認」の手順でメモした内容を手元に用意します。

☞6 ページ「ネットワーク情報の確認」

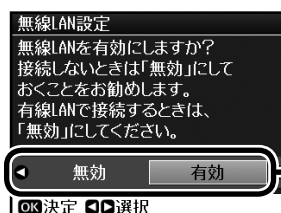
2 アクセスポイントの電源がオンになっていて、通信可能な状態になっていることを確認します。

②無線 LAN の有効化

1 ［無線 LAN 設定］を選択します。

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【OK】ボタンで決定

参考

- 上の画面になっていないときは、【セットアップ】ボタンを押して、［ネットワーク設定］を選択します。

2 ［有効］を選択します。

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

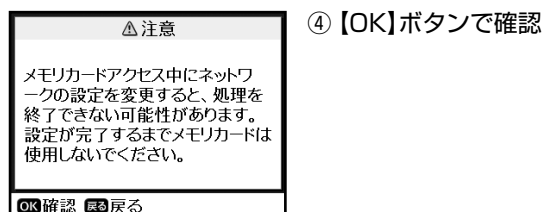
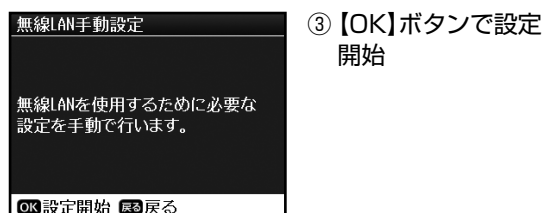
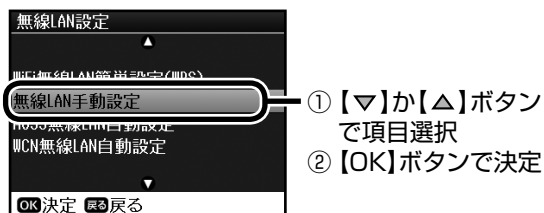
③無線 LAN の手動設定

1 ［無線 LAN 手動設定］を選択します。

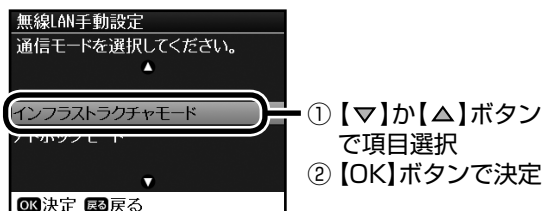
① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

③ 【OK】ボタンで設定開始

⚠注意
メモリカードアクセス中にネットワークの設定を変更すると、処理を終了できない可能性があります。設定が完了するまでメモリカードは使用しないでください。
OK確認 戻る戻る

④ 【OK】ボタンで確認

2 通信モードを選択します。

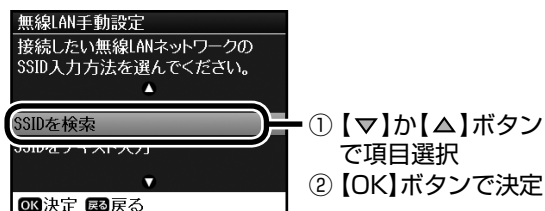
ここでは、［インフラストラクチャモード］を選択します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

参考

- 本製品をアドホックモードで使用するときは、以下をご覧ください。
  ☞『ネットワーク詳細設定ガイド』（電子マニュアル）

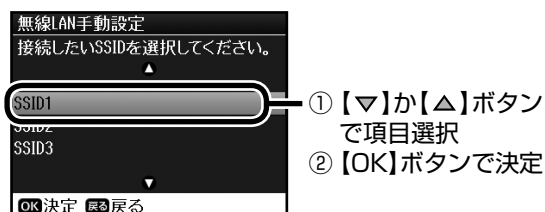
3 SSID の入力方法を選択します。

ここでは、［SSID を検索］を選択します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

参考

- SSID を手動で入力するときは、［SSID をテキスト入力］を選択して、SSID を入力してください。

4 接続する SSID（ネットワーク名）を選択します。

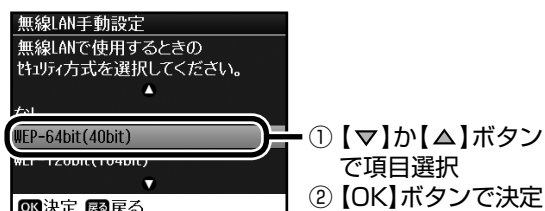
① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

参考

- SSID が何も表示されないときは、アクセスポイントが通信可能な状態か確認してください。
- アクセスポイントがステルス機能などを使用して、SSID を表示しないように設定しているときは、［戻る］ボタンを押して、1 つ前の手順に戻り、SSID を直接入力します。

5 セキュリティ方式を選択します。

［なし］を選択したときは、手順 7 へお進みください。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

つづく ●●●➡

6 **WEP キーまたは WPA パスワードを入力します。**

［WEP-64bit（40bit）］または［WEP-128bit（104bit）］を選択した場合

① WEP キーの入力方法を選択します。

ASCII 文字	WEP キーが 5 または 13 文字の場合に選択します。
16 進数	WEP キーが 10 または 26 桁の場合に選択します。

② WEP キーを入力して、【OK】ボタンを押します。

①【▽】か【△】ボタンで文字選択
- 【－】ボタンで文字消去
- 【ズーム / 表示切替】ボタンで文字種切替

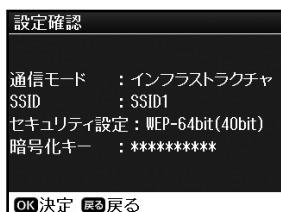
②【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③【OK】ボタンで決定

［WPA-PSK（TKIP）］または［WPA-PSK（AES）］を選択した場合

WPA パスワードを入力し、【OK】ボタンを押します。

①【▽】か【△】ボタンで文字選択
- 【－】ボタンで文字消去
- 【ズーム / 表示切替】ボタンで文字種切替

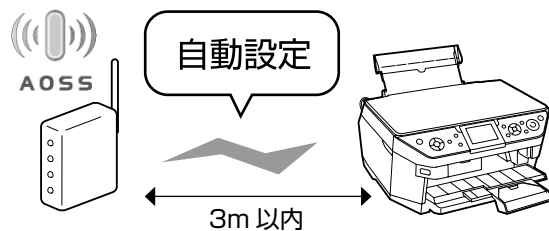
②【▷】か【◁】ボタンで入力欄選択
③【OK】ボタンで決定

7 **設定内容を確認します。**

①【OK】ボタンで決定

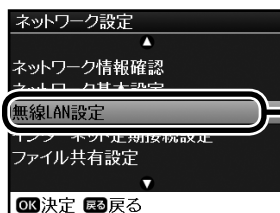
以上で、「無線 LAN 手動設定」の説明は終了です。

次にネットワークに接続できているか確認します。
☞ 18 ページ「接続状態の確認」

AOSS 無線 LAN 自動設定

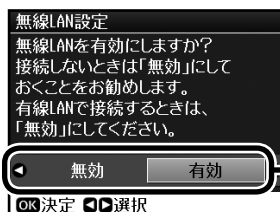
お手持ちのアクセスポイントが株式会社バッファロー製品で AOSS 機能に対応しているときに、セキュリティを自動設定できます。

①無線 LAN 環境の確認

アクセスポイントの電源がオンになっていて、通信可能な状態になっていることを確認します。

②無線 LAN の有効化

1 **［無線 LAN 設定］を選択します。**

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【OK】ボタンで決定

- 上の画面になっていないときは、【セットアップ】ボタンを押して、［ネットワーク設定］を選択します。

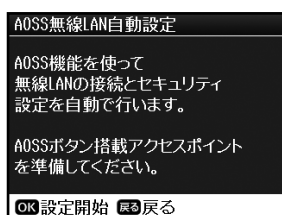
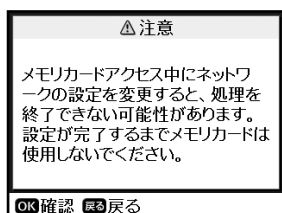
2 **［有効］を選択します。**

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

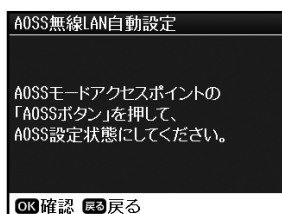
③ AOSS による無線 LAN の自動設定

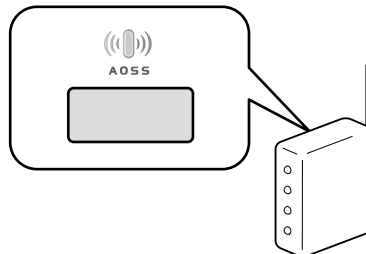
1 ［AOSS 無線 LAN 自動設定］を選択します。

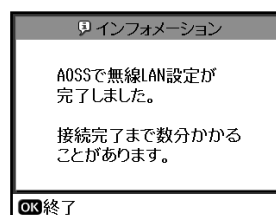
① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

③ 【OK】ボタンで設定開始

⚠注意
メモリカードアクセス中にネットワークの設定を変更すると、処理を終了できない可能性があります。
設定が完了するまでメモリカードは使用しないでください。
OK確認 戻る戻る

④ 【OK】ボタンで確認

2 アクセスポイントとのセキュリティ設定を実行します。

① 【OK】ボタンで確認

3 アクセスポイントの［AOSS］ボタン（またはそれに相当するボタン）を AOSS ランプが点滅するまで押します。

参考
- ご利用のアクセスポイント（ルーター）によっては、AOSS 専用のボタンが用意されていないことがあります。
  ［AOSS］のボタンについては、アクセスポイント（ルーター）の取扱説明書でご確認ください。

4 以下の画面が表示されたら、【OK】ボタンを押して設定を終了します。

① 【OK】ボタンで終了

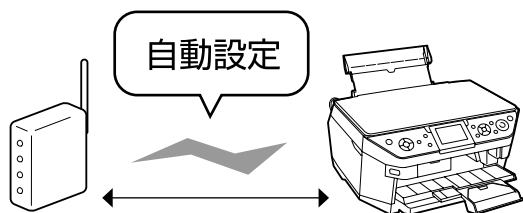
※しばらくすると、このメッセージは自動的に消えます。

参考
- AOSS 無線 LAN 自動設定は、正常に処理が完了するまでに時間がかかることがあります。設定完了のメッセージが表示されるまでしばらくお待ちください。
- 接続できなかったときは手順 1 からやり直してください。
- アクセスポイントの AOSS 機能の説明や困ったときの対処方法は、アクセスポイントの取扱説明書または株式会社バッファローのホームページをご覧ください。

以上で、「AOSS 無線 LAN 自動設定」の説明は終了です。

次にネットワークに接続できているか確認します。
☞18 ページ「接続状態の確認」

WPS 無線 LAN 自動設定

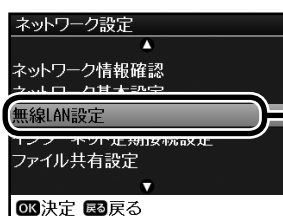
お手持ちのアクセスポイントが WPS 機能に対応しているときに、セキュリティを自動設定できます。

①無線 LAN 環境の確認

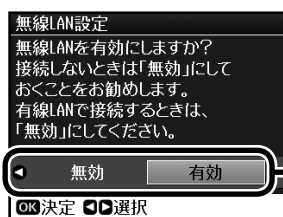
アクセスポイントの電源がオンになっていて、通信可能な状態になっていることを確認します。

②無線 LAN の有効化

1 ［無線 LAN 設定］を選択します。

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【OK】ボタンで決定

参考

- 上の画面になっていないときは、【セットアップ】ボタンを押して、［ネットワーク設定］を選択します。

2 ［有効］を選択します。

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

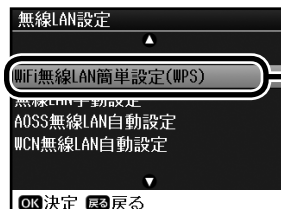
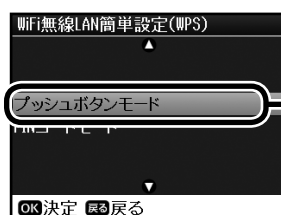
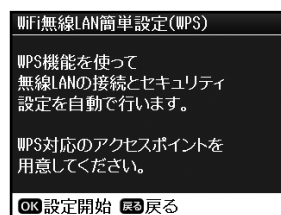
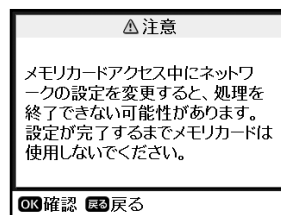
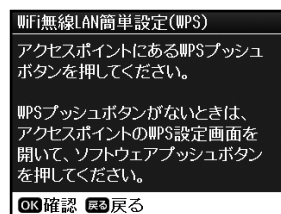
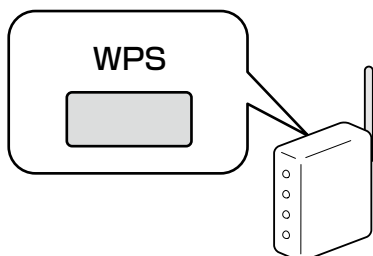
③ WPS による無線 LAN の自動設定

本製品は、プッシュボタン方式と PIN コード方式に対応しています。方式によって設定手順が異なります。

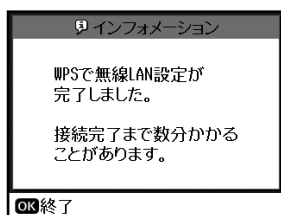
参考

- WPS 無線 LAN 自動設定は、正常に処理が完了するまでに時間がかかることがあります。設定完了のメッセージが表示されるまでしばらくお待ちください。
- 接続できなかったときは手順 1 からやり直してください。
- アクセスポイントの WPS 機能の説明や困ったときの対処方法は、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

プッシュボタン方式での設定手順

1 ［WiFi 無線 LAN 簡単設定（WPS)］を選択します。

2 ［プッシュボタンモード］を選択します。

3 アクセスポイントとのセキュリティ設定を実行します。

4 アクセスポイントの[WPS]ボタン(またはそれに相当するボタン)を押して、WPS 設定状態にします。

参考

- [WPS]のボタンについては、アクセスポイント(ルーター)の取扱説明書でご確認ください。

5 以下の画面が表示されたら、【OK】ボタンを押して設定を終了します。

①【OK】ボタンで終了

※しばらくすると、このメッセージは自動的に消えます。

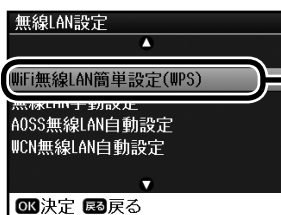
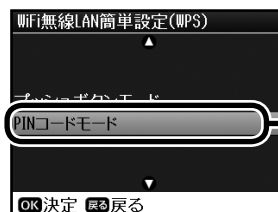
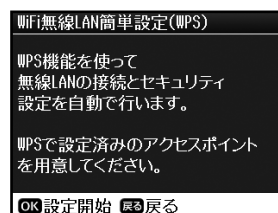
以上で、「プッシュボタン方式での設定手順」の説明は終了です。

次にネットワークに接続できているか確認します。
☞18 ページ「接続状態の確認」

PIN コード方式での設定手順

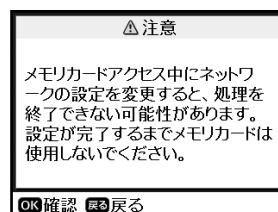
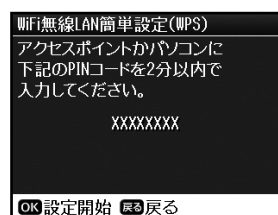
参考

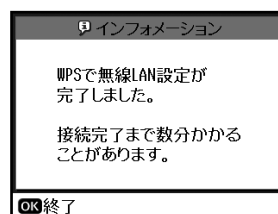
- PIN コードを登録する方法は、ご利用のアクセスポイント(ルーター)によって異なります。アクセスポイント(ルーター)の取扱説明書でご確認ください。

1 [WiFi 無線 LAN 簡単設定(WPS)]を選択します。

2 [PIN コードモード] を選択します。

3 表示された PIN コードを、アクセスポイントに 2 分以内で登録します。

⚠注意

メモリカードアクセス中にネットワークの設定を変更すると、処理を終了できない可能性があります。設定が完了するまでメモリカードは使用しないでください。

OK確認 戻る戻る

②【OK】ボタンで確認

4 以下の画面が表示されたら、【OK】ボタンを押して設定を終了します。

①【OK】ボタンで終了

※しばらくすると、このメッセージは自動的に消えます。

以上で、「PIN コード方式での設定手順」の説明は終了です。

次にネットワークに接続できているか確認します。
☞18 ページ「接続状態の確認」

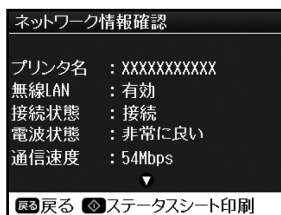
接続状態の確認

設定が終了したら、本製品がネットワークに接続できているか確認します。

1 ［ネットワーク情報確認］を選択します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

参考
- 上の画面になっていないときは、【セットアップ】ボタンを押して、［ネットワーク設定］を選択します。

2 接続の状態を確認します。

※ 設定した内容が表示されないときは、【戻る】ボタンを押して前の画面に戻り、しばらく待ってから確認してください。

無線 LAN 接続の場合

無線 LAN	［有効］になっていることを確認します。［無効］になっているときは、以下のページに戻って設定し直してください。 12 ページ「無線 LAN の設定」
接続状態	［接続］になっていることを確認します。［非接続］になっている場合は、電波状態を確認してセキュリティの設定をし直してください。 12 ページ「無線 LAN 手動設定」 14 ページ「AOSS 無線 LAN 自動設定」 16 ページ「WPS 無線 LAN 自動設定」
電波状態	電波状態が良くないときは、設置場所を変えるなどして電波状態を改善してください。

有線 LAN 接続の場合

イーサネット接続状態	［接続］になっていることを確認します。［非接続］になっているときは、以下のページに戻って設定し直してください。 9 ページ「ネットワークの基本設定」

参考
- ステータスシートを印刷すると本製品のネットワーク設定の詳細な情報を確認できます。
31 ページ「ネットワーク設定の確認とステータスシートの印刷」

以上で、「接続状態の確認」の説明は終了です。

次に印刷するパソコンにソフトウェアをインストールします。
19 ページ「ソフトウェアのインストール」

ソフトウェアのインストール

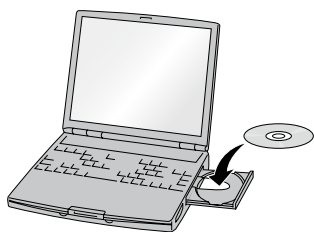
インストール条件とインストールするソフトウェアについては、『準備ガイド』（紙マニュアル）裏面をご覧ください。

参考

- 以下の画面が表示されたときは、[ブロックを解除する]をクリックしてください。[ブロックする]または[後で確認する]はクリックしないでください。

- 市販のセキュリティソフトが表示した画面で［ブロックする］や［遮断する］はクリックしないでください。
- 市販のセキュリティソフトの中には、以上の作業をしても通信できないものがあります。そのときは、市販のセキュリティソフトを一旦終了してから、本製品のソフトウェアを使用してみてください。

1 本製品の電源がオンになっていることを確認します。

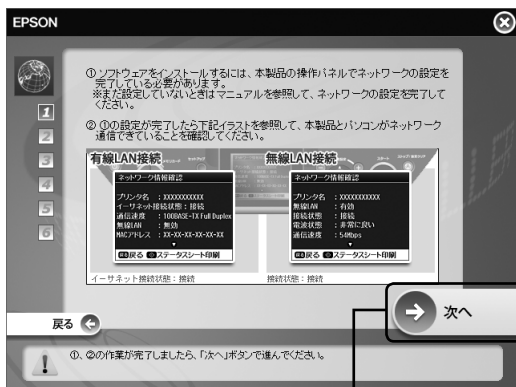
2 パソコンにソフトウェア CD-ROM をセットします。

3 Mac OS Xの場合は、[Mac OS X] アイコンをダブルクリックします。

4 下の画面が表示されたら、[おすすめインストール] をクリックします。

参考

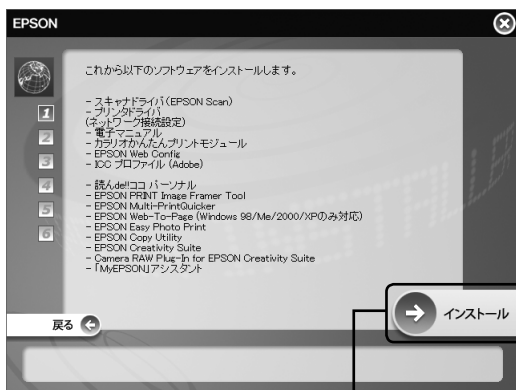
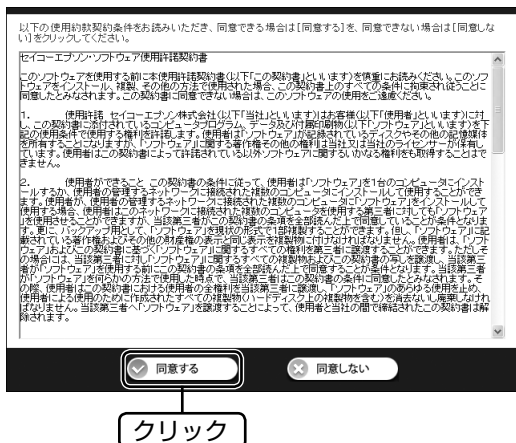
- 上の画面が表示されないときは以下をご覧ください。
  < Windows XP/Vista >
  [スタート] － [マイコンピュータ]（または [コンピュータ]）の順にクリックし、CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。
  < Windows 98/Me/2000 >
  デスクトップ上の [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。
- Windows Vista でのインストール時に、管理者のパスワードまたは確認が求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

5 [ネットワーク接続] をクリックします。

つづく

6 ［次へ］をクリックします。

参考

- 「ネットワーク上に XXXXXX を見つけることができませんでした。」と表示されたときは、以下のページに戻ってネットワークの設定を確認してください。
  ☞18 ページ「接続状態の確認」

7 ［インストール］をクリックします。

8 画面の内容を確認して、［同意する］をクリックします。

プリンタドライバ、スキャナドライバがインストールされてから手順 9 の画面が表示されます。

9 プリンタ名を確認して［次へ］をクリックします。

10 Mac OS X の場合は、［次へ］をクリックして手順 16 へ進みます。

11 必要に応じてプリンタ名を変更して、［次へ］をクリックします。

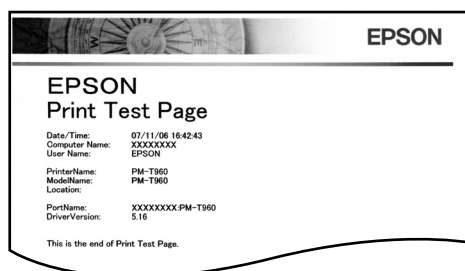
プリンタ名を変更するときは、英数半角 32 文字以内で入力してください。

12 ［次へ］を選択できるようになったらクリックします。

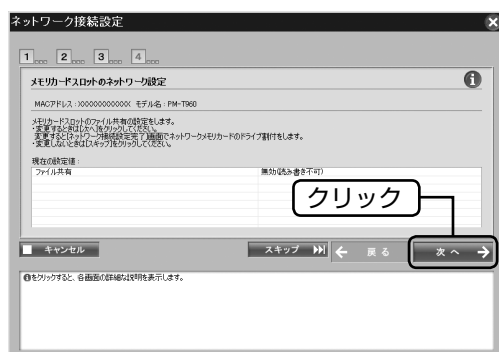
13 背面オートシートフィーダに普通紙を 1 枚セットします。

☞『操作ガイド』（紙マニュアル）14 ページ「背面オートシートフィーダへのセット」

14 [はい]を選択して、[次へ]をクリックします。

EPSON
EPSON
Print Test Page
Date/Time: 07/11/06 16:42:43
Computer Name: XXXXXXXX
User Name: EPSON
PrinterName: PM-T960
ModelName: PM-T960
Location:
PortName: XXXXXXXX:PM-T960
DriverVersion: 5.16
This is the end of Print Test Page.

上のようなテストページが印刷されれば、パソコンと本製品は正常に接続されています。

15 [次へ］をクリックします。

16 [次へ］をクリックします。

17 メモリカードへのアクセス属性を選択して、[次へ］をクリックします。

パソコンからメモリカードにデータを保存するときは、[読み書き可能］を選択します。

！重要

- Windows Vista をお使いの方へ
  本製品とパソコン（Windows Vista）を USB 接続でも使用するときは、[読み込み専用]に設定してください。[読み書き可能]に設定すると、USB 接続したパソコンからのメモリカードアクセスにより、パソコンの動作が不安定になることがあります。詳しくはエプソンのホームページをご覧ください。
  ＜ http://www.epson.jp ＞

この後は、画面の指示に従ってインストールを進めます。

参考

- インストール終了後、デスクトップに「MyEPSON」アシスタントのショートカットアイコンが作成されます。これをダブルクリックすると、「MyEPSON」登録画面が表示されますので、画面の指示に従って「MyEPSON」登録（ユーザー登録）していただくことをお勧めします。

■ Windows

以上で、準備完了です。
実際に印刷 / スキャンしてみましょう。

- 印刷 / スキャン方法は…
  ☞『操作ガイド』（紙マニュアル）69 ページ「パソコンとつないで使う / もっと活用する」
- もしも印刷できなかったら…
  ☞35 ページ「パソコンからの印刷 / スキャン時のトラブル」
  ☞『操作ガイド』（紙マニュアル）104 ページ「パソコン接続時のトラブル対処」

■ Mac OS X

次に、Mac OS X のプリンタリストに本製品を追加します。次ページへお進みください。

プリンタの追加とスキャナの接続（Mac OS X のみ）

プリンタの追加

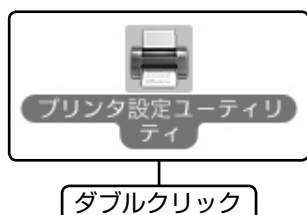
Mac OS X のプリンタリストに本製品を追加します。

1 **［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックします。**

参考

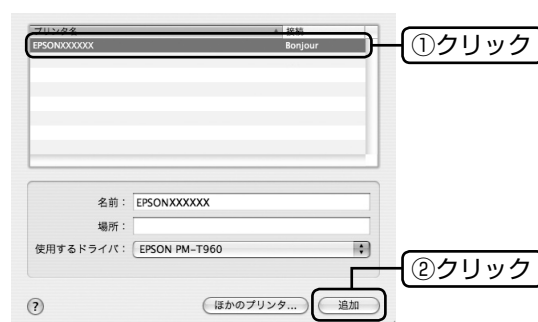
- ［Macintosh HD］アイコンの名前を変更しているときは、Mac OS X を起動しているドライブアイコンをダブルクリックしてください。

2 **［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックして、［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。**

Mac OS X v10.2 の場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンではなく［プリントセンター］アイコンをダブルクリックしてください。

3 **［プリンタリスト］またはメッセージ画面が表示されたときは［追加］をクリックします。**

4 **［プリンタブラウザ］画面で、一覧から本製品をクリックして［追加］をクリックします。**

Mac OS X v10.2 ～ v10.3 の場合は、［プリンタリスト］画面で、［Rendezvous］を選択してから、本製品をクリックして［追加］をクリックしてください。

Mac OS X v10.4

参考

- ［Rendezvous］（Mac OS X v10.2.8 ～ v10.3）/［Bonjour］（Mac OS X v10.4 以降）で印刷するとき、本製品とパソコンは DHCP 機能で IP アドレスを自動取得している必要があります。固有の IP アドレスを本製品に割り当てているときは［EPSON TCP/IP］（または［TCP/IP］）を選択してください。
- Mac OS X v10.4 で本製品が目的の接続方法で表示されていないときは、以下の操作をします。
  ①［ほかのプリンタ…］をクリックします。
  ② 表示された画面で接続方法を選択します。
  ③ 本製品を選択して、［追加］をクリックします。

以上で、「プリンタの追加とスキャナの接続（Mac OS X のみ）」の説明は終了です。

次にスキャナの接続と動作の確認をします。次ページへお進みください。

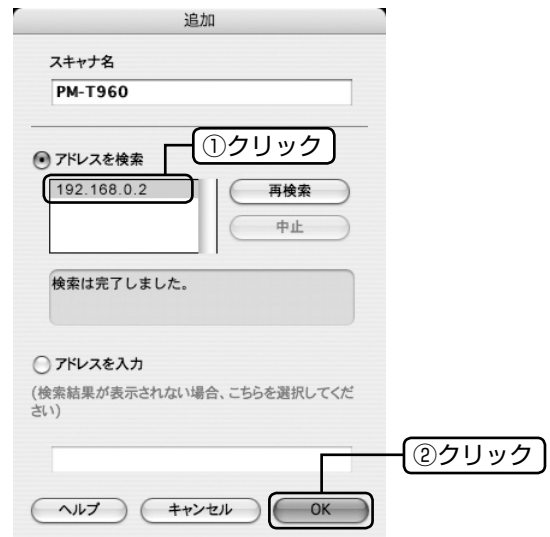
スキャナの接続と確認

EPSON Scan の接続先を設定して、動作を確認します。

1 ［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］－［EPSONScan の設定］をダブルクリックします。

2 本製品が選択されているのを確認してから、［ネットワーク接続］をクリックして、［追加］をクリックします。

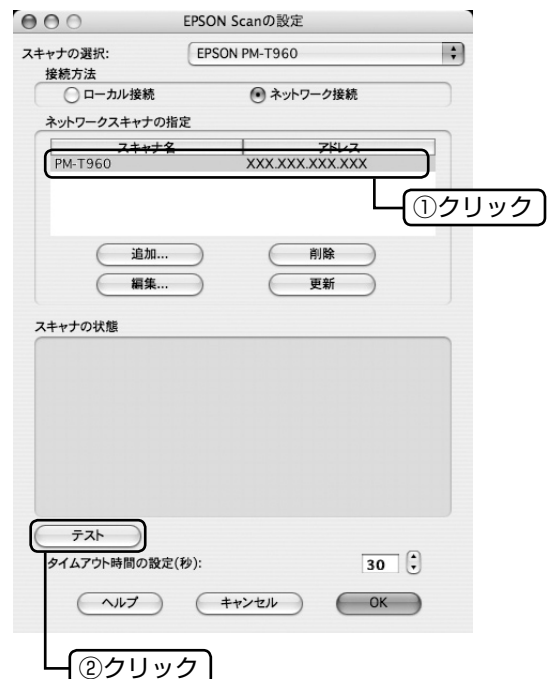
3 ［スキャナ名］を入力して、検索が終了するのを待ちます。

4 本製品の IP アドレスをクリックして、［OK］をクリックします。

参考

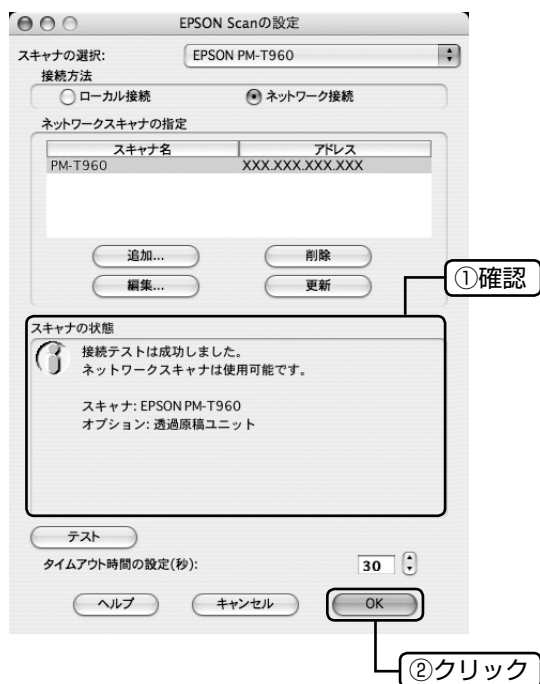
- アドレスが表示されないときは、接続を確認して［再検索］をクリックするか、［アドレスを入力］をクリックして、IP アドレスを直接指定してください。
  なお、IP アドレスを直接指定すると、IP アドレスを自動追従する機能が無効になります。

5 接続するスキャナをクリックして、［テスト］をクリックします。

［EPSON Scan の設定］画面を開いた直後は、検索中のため選択できません。検索が終了して選択できるようになるまでお待ちください。

つづく

6 ［接続テストは成功しました］と表示されるのを確認して、［OK］をクリックします。

スキャナが使用可能な状態にならないときは、以下のページをご覧ください。

☞35 ページ「印刷できない / スキャンできない」

以上で、準備完了です。
実際に印刷 / スキャンしてみましょう。

- 印刷 / スキャン方法は…
  ☞『操作ガイド』（紙マニュアル）69 ページ「パソコンとつないで使う / もっと活用する」
- もしも印刷できなかったら…
  ☞35 ページ「パソコンからの印刷 / スキャン時のトラブル」
  ☞『操作ガイド』（紙マニュアル）104 ページ「パソコン接続時のトラブル対処」

2 台目のパソコンを本製品に接続するときは

本製品に付属のソフトウェアを 2 台目のパソコンにインストールしてください。

☞19 ページ「ソフトウェアのインストール」

接続方法を変更するときは

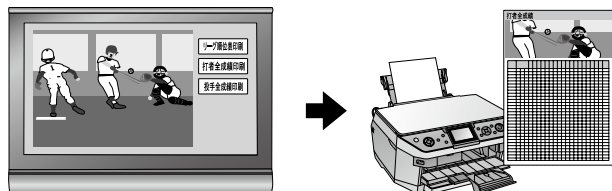
プリンタとパソコンの接続方法をネットワーク接続から USB 接続に変更するときは、『準備ガイド』（紙マニュアル）を参照して作業をしてください。

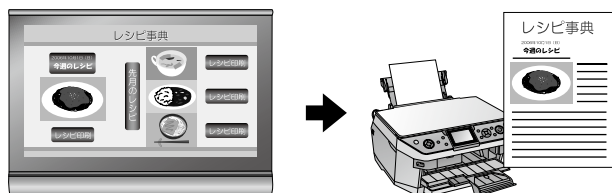
テレビプリント(テレプリパ)

テレビプリント(テレプリパ)では、プリント機能に対応したデジタルテレビと本製品をインターネット(ブロードバンドネットワーク)環境へ接続して印刷できます。
本製品と接続可能なデジタルテレビの情報は、エプソンのホームページでご案内しています。
< http://www.epson.jp/support/ >

テレビプリントでできること

データ放送から詳しい情報を印刷

デジタル放送のデータ放送から詳しい情報を印刷できます。

インターネット画面の情報を印刷

デジタルテレビに表示されたインターネット画面の情報を印刷できます。

参考

- テレビ番組や DVD/ ビデオの映像（動画のキャプチャ）は印刷できません。
  さらに詳しい印刷方法については、『テレプリパ簡単ガイド』（PDF マニュアル）をご覧ください。
  < http://www.epson.jp/guide/pcopy/ >

デジタルテレビとの接続

本製品のネットワーク設定

本製品をデジタルテレビと接続するためには、テレビがネットワーク（無線 LAN または有線 LAN）接続されている必要があります。

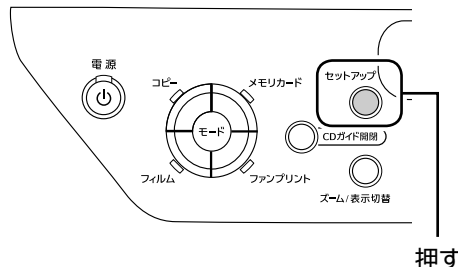
本製品のネットワーク設定

以下のページに従って、本製品をインターネット接続できるように設定してください。
☞4 ページ「接続方法の確認」～18 ページ「接続状態の確認」
インターネット常時接続（使い放題の契約）で、本製品の［インターネット定期接続設定］を［有効］にしておくことをお勧めします。
☞28 ページ「インターネット定期接続の設定」

印刷の初期設定

デジタルテレビから印刷するときの初期設定をします。テレビから指示しない設定項目は、ここで設定した内容で印刷します。設定方法は 2 種類あります。

- 操作パネルで設定
- EPSON Web Config（エプソン ウェブ コンフィグ）で設定

操作パネルで設定

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 ［ホームネットワーク印刷設定］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

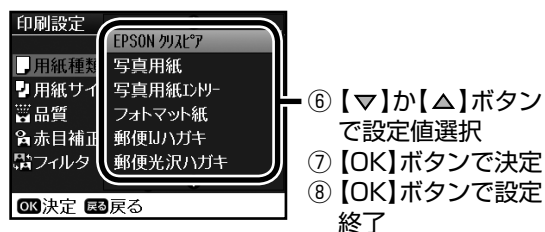
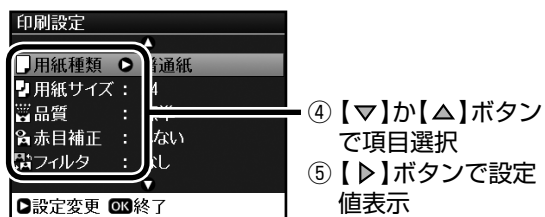
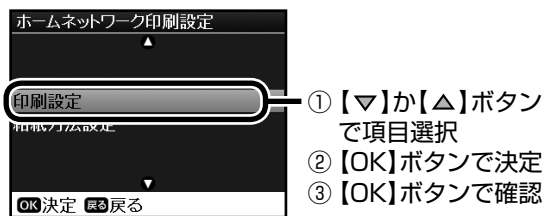
つづく

3 ［印刷設定］を変更します。

用紙の設定は、セットした用紙に合せてください。［用紙種類］→［用紙サイズ］の順に設定します。

①【▽】か【△】ボタンで項目選択
②【OK】ボタンで決定
③【OK】ボタンで確認

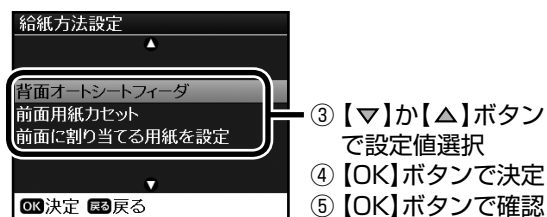
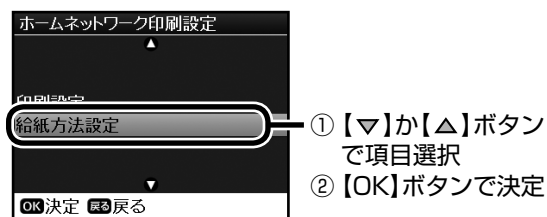
④【▽】か【△】ボタンで項目選択
⑤【▷】ボタンで設定値表示

⑥【▽】か【△】ボタンで設定値選択
⑦【OK】ボタンで決定
⑧【OK】ボタンで設定終了

印刷設定項目一覧

項目	設定値
用紙種類	EPSON クリスピア / 写真用紙 / 写真用紙エントリー / フォトマット紙 / 郵便 IJ ハガキ / 郵便光沢ハガキ / 郵便ハガキ / 普通紙 / 両面マット紙 /CD/DVD レーベル / フォトシール全面 / アイロンペーパー
用紙サイズ	L 判 /2L 判 / ハガキ / 六切 / カード / ハイビジョンサイズ / KG サイズ /A4/ 名刺 /CD/DVD
品質	標準 / きれい
赤目補正	しない / する
フィルタ	なし / セピア / モノクロ
自動画質補正	オートフォトファイン !EX/P.I.M./ なし
補正モード	標準（自動）/ 人物 / 風景 / 夜景
明るさ調整	より明るく / 明るく / 標準 / 暗く / より暗く
コントラスト	標準 / 強く / より強く
シャープネス	シャープネス強 / シャープネス弱 / 標準 / ソフトフォーカス弱 / ソフトフォーカス強
鮮やかさ調整	より鮮やか / 鮮やか / 標準 / くすんだ / よりくすんだ
双方向印刷	する / しない
CD 外径内径調整＊1	標準 / ユーザー設定
CD 濃度調整＊1	標準 / 濃く / より濃く

＊ 1：CD/DVD 印刷時のみ表示されます。

4 ［給紙方法設定］を変更します。

デジタルテレビからの印刷時に反映されます。

給紙方法設定項目一覧

項目	設定値の詳細
背面オートシートフィーダ	背面オートシートフィーダの用紙を給紙します。
前面用紙カセット	前面用紙カセットの用紙を給紙します。
前面に割り当てる用紙を設定	前面用紙カセットから給紙する［用紙種類］と［用紙サイズ］を設定します。 ここで設定した用紙以外は背面オートシートフィーダから給紙されます。

参考

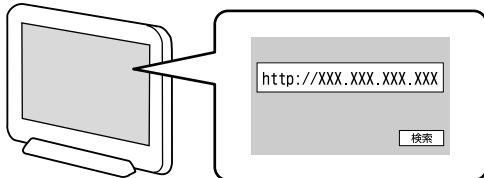
- デジタルテレビ側からは、給紙方法の選択はできません。
- テレビプリントでは本製品の［ホームネットワーク印刷設定］の給紙方法に従って給紙されます。
- デジタルテレビの設定が、「プリンタの設定に従う＊1」などになっているときは、本製品の［ホームネットワーク印刷設定］の［印刷設定］で設定した内容で印刷されます。

＊ 1：デジタルテレビによって名称が異なります。

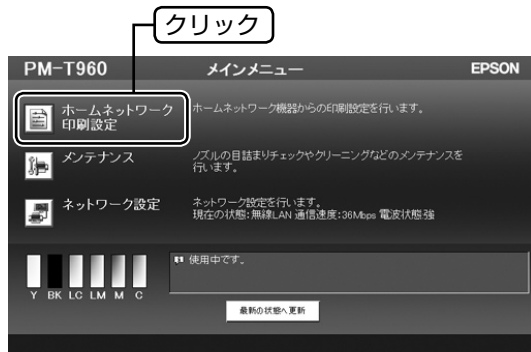
EPSON Web Config で設定

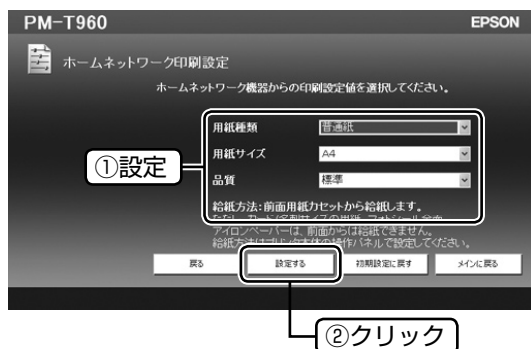
EPSON Web Config は本製品に内蔵されている機能です。デジタルテレビで閲覧して設定できます。

1 **デジタルテレビのブラウザで、本製品の IP アドレスを入力して、検索を実行します。**

- http://IPアドレス(<例>http://192.168.0.2)

参考

- 検索できないときは、本製品の IP アドレスを操作パネルで確認して IP アドレスを再入力してください。
  ☞31 ページ「ネットワーク設定の確認とステータスシートの印刷」

2 **[ホームネットワーク印刷設定]を選択します。**

3 **印刷設定を変更します。**

用紙の設定は、セットした印刷用紙に合わせてください。[用紙種類] を設定してから [用紙サイズ] を設定します。

設定項目の詳細は、以下をご覧ください。
☞『ネットワーク詳細設定ガイド』（電子マニュアル）

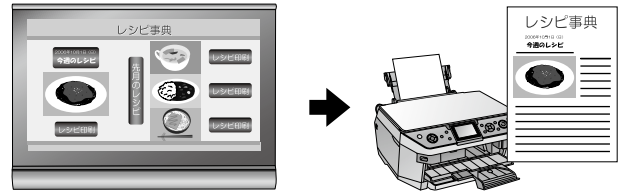
以上で、「印刷の初期設定」の説明は終了です。
この後は、画面の説明をご覧になって設定してください。

印刷方法

1 **印刷用紙をセットします。**

☞『操作ガイド』（紙マニュアル）14 ページ「印刷用紙のセット」

2 **デジタルテレビで、印刷したい画面を表示して印刷を開始します。**

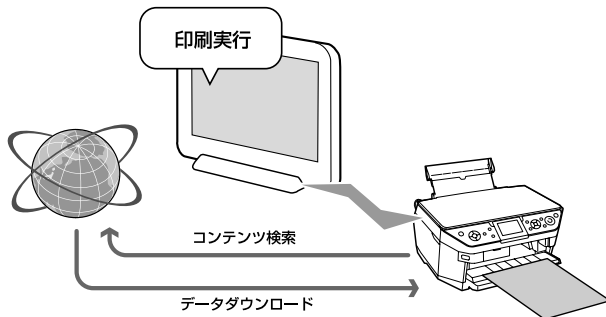
テレビの画面に表示される説明や手順に従い、テレビのリモコンで操作して印刷します。

参考

- 印刷手順の詳細は、テレビの取扱説明書または『テレプリパ簡単ガイド』(PDF マニュアル) をご覧ください。
- 正しい印刷結果を得るために、本製品の状態（ノズルの目詰まりや、セットしてある用紙）を定期的に確認してください。
- データ放送では、コンテンツによって印刷する用紙サイズが異なります。
- コンテンツの用紙サイズがわからないときは、A4 サイズの用紙を選択して印刷することをお勧めします。
- 印刷中にチャンネルを替えたり放送が終了してしまったりしたときは、印刷が途中で終了することがあります。

以上で、「印刷方法」の説明は終了です。

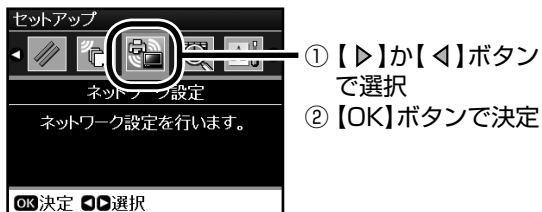
インターネット定期接続の設定

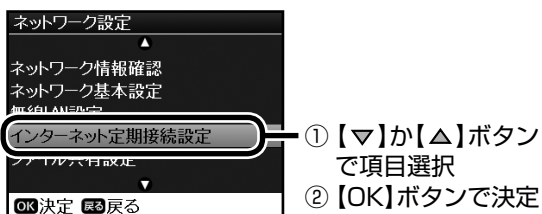
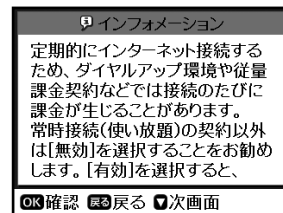
本製品は、デジタルテレビなどに接続して、データ放送の情報やインターネット上のコンテンツを印刷できます。ここでは、いつでも印刷できるように、定期的にインターネット接続を確認するための設定をします。

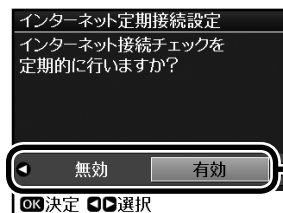
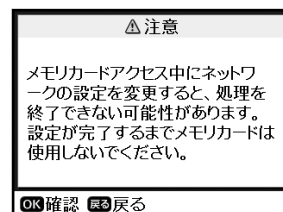
!重要

- メモリカードアクセス中にネットワーク設定をすると、アクセスが中断されることがあります。
- インターネットに接続するため、ご利用の接続形態によっては課金が発生することがありますのでご注意ください。定額制の接続形態以外では、［無効］の設定をお勧めします。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 ［ネットワーク設定］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

3 ［インターネット定期接続設定］を選択します。

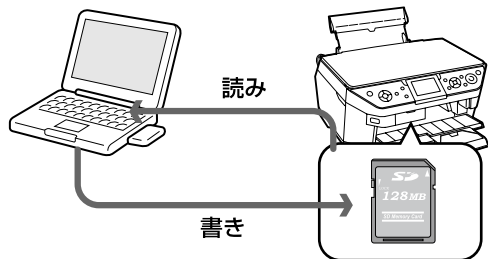
① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

4 画面の内容を確認して、【OK】ボタンを押します。

① 【OK】ボタンで確認

5 ［無効］/［有効］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定
③ 【OK】ボタンで確認

以上で、「インターネット定期接続の設定」の説明は終了です。

ファイル共有の設定

ネットワーク上のパソコンから、本製品のメモリカードのファイルにアクセスするときの設定を変更します。

！重要

- メモリカードアクセス中にネットワーク設定をすると、アクセスが中断されることがあります。

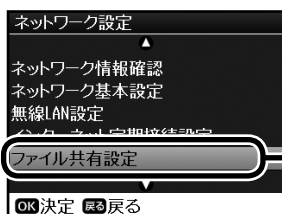
参考

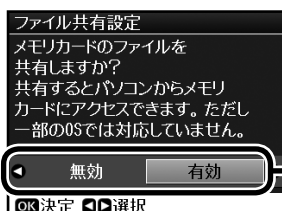
- Mac OS はネットワークメモリカードスロット機能に対応していません。
- Windows 98 では、Second Edition 以降がネットワークメモリカードスロット機能に対応しています。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 ［ネットワーク設定］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

3 ［ファイル共有設定］を選択します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

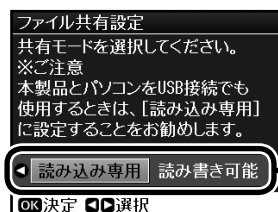
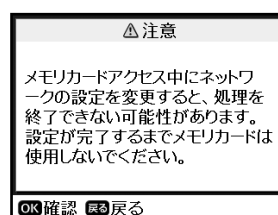
4 ［無効］/［有効］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

5 手順 4 で［有効］を選択した場合は、パソコンに許可する内容を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

⚠注意

メモリカードアクセス中にネットワークの設定を変更すると、処理を終了できない可能性があります。
設定が完了するまでメモリカードは使用しないでください。

OK確認 戻る戻る

③ 【OK】ボタンで確認

！重要

- Windows Vista をお使いの方へ
  本製品とパソコン（Windows Vista）を USB 接続でも使用するときは、［読み込み専用］に設定してください。［読み書き可能］に設定すると、USB 接続したパソコンからのメモリカードアクセスにより、パソコンの動作が不安定になることがあります。
  詳しくはエプソンのホームページをご覧ください。
  < http://www.epson.jp >

以上で、「ファイル共有の設定」の説明は終了です。

ネットワーク設定の変更

本製品のネットワークに関する設定は、操作パネルまたは EPSON Web Config（エプソン ウェブ コンフィグ）で変更できます。

！重要

- メモリカードアクセス中にネットワーク設定をすると、アクセスが中断されることがあります。

操作パネルで設定

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 ［ネットワーク設定］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

この後の手順は、以下のページをご覧ください。
☞9 ページ「ネットワークの基本設定」
☞12 ページ「無線 LAN の設定」

以上で、「操作パネルで設定」の説明は終了です。

EPSON Web Config で設定

EPSON Web Config は本製品に内蔵されている機能です。Web ブラウザで閲覧して設定できます。

起動方法

Windows

1 [スタート]－[すべてのプログラム](または[プログラム])－[EPSON]－[EPSON Web Config]の順にクリックして起動します。

参考

- 「Windows セキュリティの重要な警告」画面が表示されたら、発行元が「SEIKO EPSON」であることを確認して、［ブロックを解除する］をクリックしてください。［ブロックする］をクリックしたときは、EPSON Web Config を Windows ファイアウォールに登録してください。
☞『ネットワーク詳細設定ガイド』（電子マニュアル）

Mac OS X

1 Safari を起動します。

2 メニューから［Safari］－［環境設定］を選択します。

3 「ブックマーク」ウィンドウで、以下の項目にチェックを付けます。

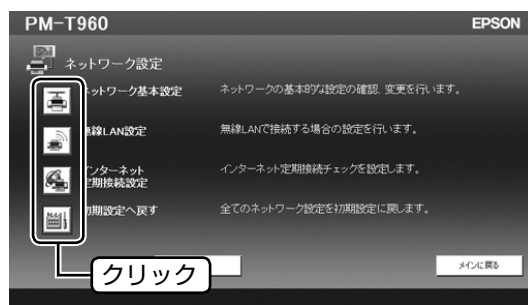
- ブックマークバー
  Bonjour を表示(または Rendezvous を含める)
- ブックマークメニュー
  Bonjour を表示(または Rendezvous を含める)

4 アドレスバー下のメニューに追加された［Bonjour］（または［Rendezvous］）をクリックし、ドロップダウンリストから本製品（Bonjour/Rendezvous プリンタ名）を選択します。

EPSON Web Config が Safari 上で表示されます。このとき、EpsonNet Config は起動しないでください。

設定方法

1 ［ネットワーク設定］をクリックします。

2 変更する設定のアイコンをクリックします。

この後は、画面の説明をご覧になって設定してください。
以上で、「EPSON Web Config で設定」の説明は終了です。

ネットワーク設定の確認とステータスシートの印刷

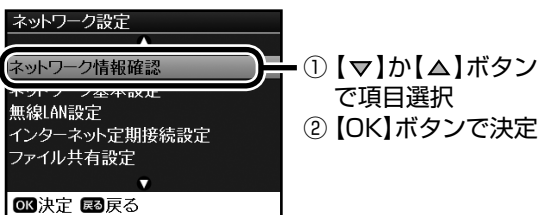
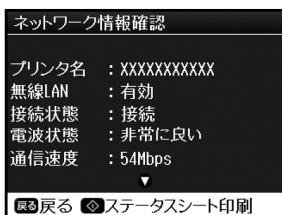
本製品のネットワーク設定の設定値は以下の手順で確認できます。また、ステータスシートを印刷するとネットワーク設定の詳細な情報を確認できます。

1 【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2 ［ネットワーク設定］を選択します。

① 【▷】か【◁】ボタンで選択
② 【OK】ボタンで決定

3 ［ネットワーク情報確認］を選択します。

① 【▽】か【△】ボタンで項目選択
② 【OK】ボタンで決定

4 接続の状態を確認します。

5 前面用紙カセットに普通紙をセットして、【スタート】ボタンを押します。

ステータスシートを印刷しないときは、【戻る】ボタンを押します。

☞『操作ガイド』（紙マニュアル）15 ページ「前面用紙カセットへのセット」

［ネットワーク情報確認］画面

設定や環境によって、表示が異なります。

項目	設定値
プリンタ名	EPSONXXXXXX
イーサネット接続状態	接続 / 非接続
通信速度	10BASE-T Half Duplex/10BASE-T Full Duplex/100BASE-TX Half Duplex/100BASE-TX Full Duplex
無線 LAN	有効 / 無効
接続状態	接続 / 非接続 / アドホックモードのため不明
電波状態	非常に良い / 良い / 弱い / 悪い
通信速度	0 ～ 54Mbps （環境によって表示が異なります）
MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
TCP/IP 設定方法	自動設定 / 手動設定
IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
ゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
DNS サーバ設定方法	自動設定 / 手動設定
プライマリ	XXX.XXX.XXX.XXX
セカンダリ	XXX.XXX.XXX.XXX
プロキシサーバ設定方法	使用する / 使用しない
プロキシサーバ	XXX.XXX.XXX.XXX
ポート	0 ～ 65535
無線 LAN 設定方法	手動設定 /WPS/AOSS （WCN を選択したときは手動設定と表示されます）
通信モード	インフラストラクチャ / アドホック
チャネル	1 ～ 13
SSID	XXXXX
セキュリティ設定	なし /WEP-64bit（40bit）/ WEP-128bit（104bit） WPA-PSK（TKIP）/WPA-PSK（AES）
暗号化 / 事前共有キー	＊＊＊＊＊ / 未設定
インターネット定期接続設定	有効 / 無効
ファイル共有設定	有効 / 無効
ファイル共有モード	読み込み専用 / 読み書き可能

ステータスシート

HHHH EPSON Status Sheet HHHH

<General Information>
MAC Address　XX:XX:XX:XX:XX:XX
Software　XX.XXXXXX
Printer Model　PM-T960
Printer Name　EPSONXXXXXX

<Ethernet>
Network Status　NONE
Port Type　NONE

<Wireless>
Wireless Mode　ON
Communication Mode　Infrastructure
Operation Mode　IEEE 802.11b/g
Transmission Rate　Auto(54Mbps)
SSID　XXX
Channel　11
Security Level　WEP-128bit(104bit)
AP Authentication Method　Auto(Open System)
Link Status　Connect
Access Point(MAC Address)　XX:XX:XX:XX:XX:XX
Signal Condition　Excellent

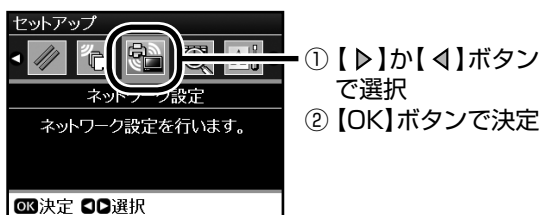
※ 設定の内容によっては、複数枚印刷されることがあります。

ネットワーク設定を初期設定に戻す

ネットワークの設定を購入時の設定に戻します。

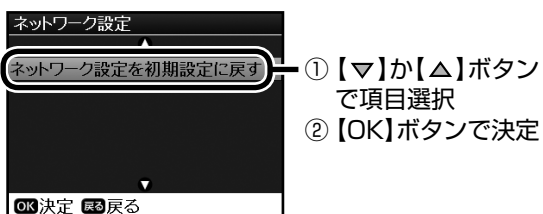
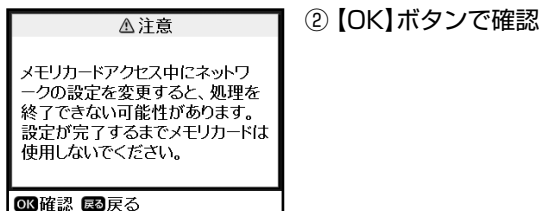
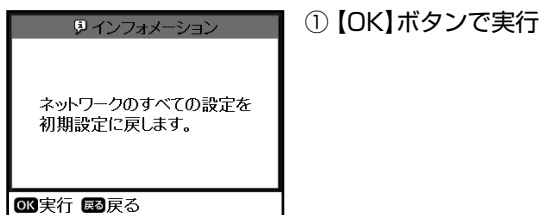
1　【セットアップ】ボタンを押して、セットアップモードにします。

2　［ネットワーク設定］を選択します。

①【▷】か【◁】ボタンで選択
②【OK】ボタンで決定

3　［ネットワーク設定を初期設定に戻す］を選択します。

4　初期化を実行します。

①【OK】ボタンで実行

②【OK】ボタンで確認

以上で、「ネットワーク設定を初期設定に戻す」の説明は終了です。

ネットワーク設定時のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● アクセスポイントと接続できない / 検出されない	■ アクセスポイントは接続可能な状態になっていますか？ お使いのパソコンなど他の機器で無線通信できるか確認してください。 ■ アクセスポイントとプリンタの位置が離れ過ぎていませんか？また障害物がありませんか？ プリンタの位置を移動してアクセスポイントと近づけたり、障害物を取り除いてください。 ■ アクセスポイントにアクセス制限を設定していませんか？ アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）にアクセス制限を設定しているときは、本製品の MAC アドレスや IP アドレスをアクセスポイントに登録して、通信を許可しておいてください。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。 ■ アクセスポイントの設定で SSID（ネットワーク）名を表示させない設定にしていませんか？ アクセスポイント側でステルス機能などを使用して SSID を表示させないように設定しているときは、SSID を操作パネルで入力してください。 ☞12 ページ「無線 LAN 手動設定」 ■ WEP キーやパスワードの設定は正しいですか？ 大文字、小文字の違いも許可されません。入力した WEP キーやパスワードが正しいか確認してください。 ■ 無線 LAN を内蔵したパソコンで、使用できる無線チャンネルが制限されていませんか？ 無線 LAN を内蔵したパソコンでは、使用できる無線チャンネルが制限されていることがあります。パソコンまたは無線 LAN カードなどの取扱説明書で、使用できる無線チャンネル番号を確認してください。そして、アクセスポイントに設定されている無線チャンネル番号が、上記で確認した無線チャンネル番号に含まれていることを確認してください。含まれていないときは、アクセスポイントの無線チャンネルを変更してください。
● 有線 LAN で通信できない	■ 操作パネルの［無線 LAN 設定］は［無効］になっていますか？ ［有効］に設定されていると有線 LAN で通信できません。［無効］に設定してください。 ■ ハブ（HUB）やルータなどと、本製品の通信モード（Link Speed）があっていますか？ ハブやルータなどと本製品の通信モードの組み合わせが適切か確認してください。 ☞『ネットワーク詳細設定ガイド』（電子マニュアル）

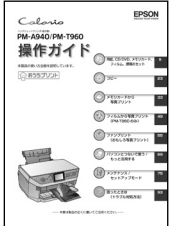
以上を確認しても接続できないときは、ネットワーク設定を初期設定に戻してみてください。
☞32 ページ「ネットワーク設定を初期設定に戻す」

ソフトウェアインストール時のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
●「見つけることができませんでした。」と表示される	■ 無線 LAN 接続のときは、パソコンとアクセスポイントが、ネットワーク接続できていますか？ インターネット閲覧やメールなどの機能が正常に動作するか確認して、パソコンとアクセスポイントがネットワーク接続できていることを確認してください。 ■ アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）やハブ（HUB)、ケーブルなどが正常か確認してください。 まずアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）やハブ（HUB）を見て、本製品を接続しているポートのリンクランプが点灯 / 点滅しているか確認してください。 リンクランプが消灯しているときは、次のことを確認してください。 • 他のポートに接続して、リンクランプが点灯 / 点滅するかどうか • 使用しているケーブルが断線していないかどうか • 無線に関する設定が、接続したいアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）に合っているか ■ 無線 LAN 接続のときは、本製品とアクセスポイントが、ネットワーク接続できていますか？ 本製品の操作パネルで本製品とアクセスポイントが接続されていることを確認してください。 ☞18 ページ「接続状態の確認」 ■ 有線 LAN 接続のときは、ハブ（HUB）またはルータなどの LAN ポートにパソコン、本製品が接続されていますか？ 各機器が LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。 ■ 本製品の電源は入っていますか？ 本製品の電源をオンにしてください。 ■ IP アドレスは正しく設定されていますか？ 本製品の IP アドレスを［手動設定］にしているときは、IP アドレスが正しく設定されていないとパソコンと接続できません。IP アドレスを正しく設定してください。 ☞40 ページ「ネットワークの基礎知識」 ☞11 ページ「TCP/IP の手動設定」 ■［Windows セキュリティの重要な警告］画面や市販のセキュリティソフトが表示した画面で、［ブロックする］や［遮断する］を選択していませんか？ ［ブロックする］や［遮断する］を選択すると、通信ができなくなります。通信を可能にするには Windows ファイアウォールや市販のセキュリティソフトで、例外アプリケーションソフトとして本製品のソフトウェアを登録してください。登録方法は以下をご覧ください。 ☞『ネットワーク詳細設定ガイド』（電子マニュアル）-「困ったときは」 市販のセキュリティソフトの中には、以上の作業をしても通信できないものがあります。そのときはパソコンのインターネット接続を切断した上で市販のセキュリティソフトを一旦終了してから、本製品のソフトウェアを使用してみてください。

パソコンからの印刷 / スキャン時のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● 印刷できない / スキャンできない	■ 無線 LAN 接続のときは、パソコンとアクセスポイントが、ネットワーク接続できていますか？ インターネット閲覧やメールなどの機能が正常に動作するか確認して、パソコンとアクセスポイントがネットワーク接続できていることを確認してください。 ■ アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）やハブ（HUB）、ケーブルなどが正常か確認してください。 まずアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）やハブ（HUB）を見て、本製品を接続しているポートのリンクランプが点灯 / 点滅しているか確認してください。リンクランプが消灯しているときは、アクセスポイントの電源を一旦オフにしてもう一度オンにしてみてください。 それでも印刷 / スキャンができないときは次のことを確認してください。 • 他のポートに接続して、リンクランプが点灯 / 点滅するかどうか • 使用しているケーブルが断線していないかどうか • 無線に関する設定が、接続したいアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）に合っているか ■ 無線 LAN 接続のときは、本製品とアクセスポイントが、ネットワーク接続できていますか？ 操作パネルで本製品とアクセスポイントが接続されていることを確認してください。 ☞18 ページ「接続状態の確認」 ■ 有線 LAN 接続のときは、ハブ（HUB）またはルータなどの LAN ポートにパソコンと本製品が接続されていますか？ 各機器が LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。 ■ 本製品の電源は入っていますか？ 本製品の電源をオンにしてください。 ■ ネットワーク設定が正しいか確認してください。 操作パネルでステータスシートを印刷してネットワークの設定が正しいか確認してください。設定が異なるときは、再設定してください。 ☞31 ページ「ネットワーク設定の確認とステータスシートの印刷」 ☞30 ページ「ネットワーク設定の変更」 ■ 接続方法を変更していませんか？ USB 接続から LAN 接続など接続方法を変更したときは、設定の変更が必要になることがあります。 ■ 操作パネルでネットワークの設定をしていませんか？ 操作パネルでネットワークの設定をしているときは、印刷できないことがあります。 設定を終了してから印刷を実行してください。
● EPSON Scan が起動できない	■ EPSON Scan の設定で IP アドレスを直接指定していませんか？ EPSON Scan の設定で IP アドレスを直接指定していると、IP アドレスを自動追従する機能が無効になります。本製品の IP アドレスを DHCP 機能で設定すると、本製品の電源を入れるたびに本製品の IP アドレスが変わるため、［アドレスを検索］で IP アドレスを指定することをお勧めします。 ☞23 ページ「スキャナの接続と確認」

デジタル家電接続時のトラブル

症状 / トラブル状態	確認 / 対処方法
● EPSON Web Config の画面を表示できない	■ IP アドレスを自動設定にしていませんか？ IP アドレスが［自動設定］になっていると IP アドレスが変わることがあります。IP アドレスが変わると、デジタル家電のブラウザにお気に入りとして本製品の IP アドレスを登録しているときに、検索できないことがあります。検索できないときは、本製品の IP アドレスを操作パネルで確認して、IP アドレスを再入力してください。
● 前面用紙カセットに割り当てた用紙が給紙されない ● セットした用紙サイズで印刷されない	■ ［ホームネットワーク印刷設定］の設定は正しいですか？ ☞25 ページ「印刷の初期設定」 デジタルテレビからの印刷時は､本製品の［ホームネットワーク印刷設定］で設定した給紙装置から給紙されます。［給紙方法の設定］で［前面に割り当てる用紙を設定］を選択したときは、割り当てた［用紙種類］と［用紙サイズ］がデジタルテレビの設定と一致したときだけ前面から給紙されます。 デジタルテレビ側で選択された印刷設定と［ホームネットワーク印刷設定］の内容をご確認ください。 デジタルテレビの設定と［ホームネットワーク印刷設定］が一致していても、データ放送やネットサービスのコンテンツ自体の印刷サイズと異なるときは、コンテンツの用紙サイズが優先されることがあります。データ放送画面やネットサービス画面の印刷指示をご確認ください。

その他のトラブル

本書ではネットワーク接続時のトラブルのみを説明しています。
その他のトラブルは、以下のマニュアルをご覧ください。

コピー、メモリカードから印刷など本製品を単体で使用するときのトラブル

『操作ガイド』（紙マニュアル）の「困ったときは（トラブル対処方法）」をご覧ください。

操作ガイド	本製品の使い方全般を説明しています。

パソコンと接続して使用するときのトラブル

『活用＋サポートガイド』（電子マニュアル）の「トラブル対処方法」をご覧ください。

活用＋サポートガイド （電子マニュアル）	ソフトウェア CD-ROM に収録されています。ソフトウェアのインストールの際パソコンにインストールされます。パソコンとつないだときの詳しい使い方を説明しています。また、インターネットを介して、エプソンのホームページなどに接続し、最新ソフトウェアのダウンロードや、最新情報を入手できます。

ネットワーク設定の詳しい対処方法

『ネットワーク詳細設定ガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

ネットワーク詳細設定ガイド （電子マニュアル）	ソフトウェア CD-ROM に収録されています。ソフトウェアのインストールの際パソコンにインストールされます。 ネットワーク環境で使用するための詳しい説明をしています。

仕様

技術的な仕様について記載しています。
ネットワーク以外の仕様については、『操作ガイド』（紙マニュアル）をご覧ください。

無線 LAN 仕様

準拠規格	IEEE 802.11b/IEEE 802.11g
無線規格	ARIB STD-T66、RCR STD-33
周波数範囲	2,400 ～ 2.497 GHz
チャンネル	IEEE 802.11b：1 ～ 14ch IEEE 802.11g：1 ～ 13ch IEEE 802.11b/g：1 ～ 13ch
伝送方式	DS-SS、OFDM
通信速度	1、2、5.5、11Mbps モード（IEEE 802.11b） 6、9、12、18、24、36、48、54Mbps モード（IEEE 802.11g）
通信モード	インフラストラクチャ / アドホック
セキュリティ	WEP（64/128bit）、WPA-PSK（TKIP）、WPA-PSK（AES）*1

＊ 1：WPA2 規格に対応

重要

- 通信速度は、規格上の通信速度表記であり、理論上の最大通信速度や実際の通信可能速度を示すものではありません。実際の通信速度は、環境により異なります。

有線 LAN 仕様

準拠規格	IEEE 802.3
通信モード	10Base-T/100Base-TX 自動またはマニュアル選択
コネクタ形状	RJ-45
ポート規制	Auto-MDIX 対応

電波に関するご注意

機器認定について

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名　：WLU3070-D69（RoHS）
- 認証番号：005NYCA0492
  005GZCA0106

周波数について

本製品は、2.4GHZ 帯の 2.400GHz から 2.497GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上の注意

本製品の使用周波数は、2.4GHz 帯です。この周波数では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、使用周波数を変更するかまたは本製品の運用を停止（無線の発射を停止）してください。
3. 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、カラリオインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

参考

- 上記の内容が記載されているステッカーが、本製品に同梱されていますので、本製品の目に付く場所にお貼りいただきますようお願い申し上げます。

本製品は Wi-Fi Alliance の承認を受けた無線機器です。
他メーカーの Wi-Fi 承認済みの無線機器とも通信が可能です。Wi-Fi 対応製品の詳細は Wi-Fi Alliance のホームページ（http://www.wi-fi.org）をご参照ください。

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS、OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。全帯域を使用し周波数変更が可能です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

本製品の使用時におけるセキュリティに関するご注意

本製品を使用する前に、必ずお読みください。
本製品などの無線 LAN 製品では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピュータなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物 (壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

■通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。。

■不正に侵入される

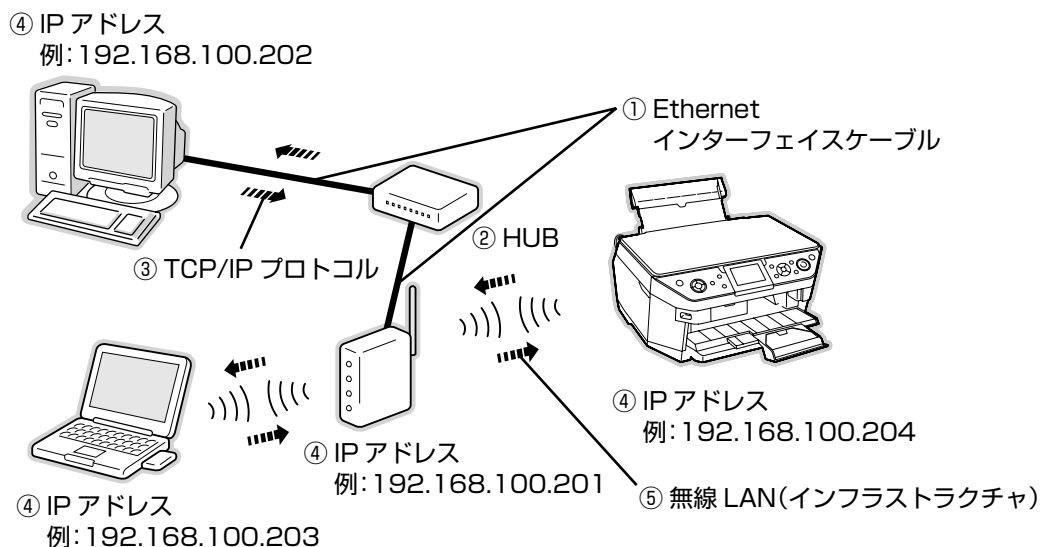
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す (情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する (改ざん）
- コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。
本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。
※ セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
本製品のセキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、カラリオインフォメーションセンターまでお問い合わせください。
弊社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

ネットワークの基礎知識

用語の説明

プリンタのネットワーク共有に必要な用語について説明します。

① Ethernet（イーサネット）インターフェイスケーブル（LAN ケーブル）

Ethernet とはネットワークの規格のことで、ケーブルの接続の規格には、10Base と 100Base があります。
本製品は、10Base-T（テンベースティー）、100Base-TX（ヒャクベースティーエックス）に対応しています。

②ハブ（HUB）

LAN ケーブルを接続するための集線装置です。ネットワーク上のパソコンやプリンタはハブを介して接続します。
ハブには、データの送り先を認識して送信するスイッチングハブと、すべてのポートに送信するリピータハブがあります。

③ TCP/IP（ティーシーピーアイピー）

ネットワークの通信にはさまざまな規約があり（これをプロトコルといいます）、TCP/IP はその中の 1 つです。
インターネット上の通信で使用される、世界的な標準プロトコルです。
ネットワーク上のすべてのパソコンに組み込む必要があります。

④ IP アドレス（アイピーアドレス）

電話機 1 台につき 1 つの電話番号が必要であるように、パソコンをネットワーク上で使用するには、パソコン 1 台につき 1 つの識別子（アドレス）が必要です。この識別子のことを IP アドレスといい、電話番号と同様に数字の羅列（例：192.168.192.168）で表されます。ネットワーク上のすべてのパソコンやプリンタに IP アドレスを割り振る必要があります。
次ページで IP アドレスについて詳しく説明しています。

⑤無線 LAN（インフラストラクチャ）

インフラストラクチャとは、無線 LAN 通信のモードの 1 つで、アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を経由して、ネットワークに接続する方法です。

IP アドレスは何番にする？

複数のパソコンで IP アドレスが重複すると、正常に通信できません。そのため、IP アドレスは世界的な機関で集中管理されています。外部接続（インターネットへの接続､電子メールの送受信など）するときには､日本ネットワークインフォメーションセンター：JPNIC（http://www.nic.ad.jp/）に申請して、正式に IP アドレスを取得する必要があります（通常はインターネットサービスプロバイダ（通称 ISP）がします)。
ただし、外部のネットワークに接続しない閉じた環境では、外部との接続を将来的にも一切しないという条件のもとに、次の範囲のプライベートアドレスを使用できます。

プライベートアドレス	10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
	172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
	192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

!重要
- 本製品の初期(お買い上げ時)の IP アドレスは［自動］に設定されています。

IP アドレスの割り振り方

IP アドレスをネットワーク上のパソコンに割り振る前に、「サブネットマスク」というものを理解しなければなりません。
電話番号に市外局番があるように、IP アドレスにもエリアを示す仕組みがあります。このエリアは、概念的には会社や部門などで分け、物理的にはゲートウェイまたはルータと呼ばれる中継器で分けます。

参考
- ゲートウェイ､ルータとは
  同一プロトコルを使用した社内ネットワークで、部門間に設置する中継器をルータ、社内ネットワークと外部（インターネット）との間に設置する中継器をゲートウェイと考えてください。なお、ルータによって分けられるエリアをセグメントと呼びます。

エリアを示す仕組みに利用されるのが、サブネットマスクです。サブネットマスクは、IP アドレスと同様、数字の羅列（例：255.255.255.0）で表されます。
サブネットマスクは、IP アドレスに被せるマスクと考えてください。下表の例では、サブネットマスクの「255」にかかる部分がエリアのアドレス（これをネットワークアドレスといいます）、「0」にかかる部分がエリア内の各機器のアドレスになります。

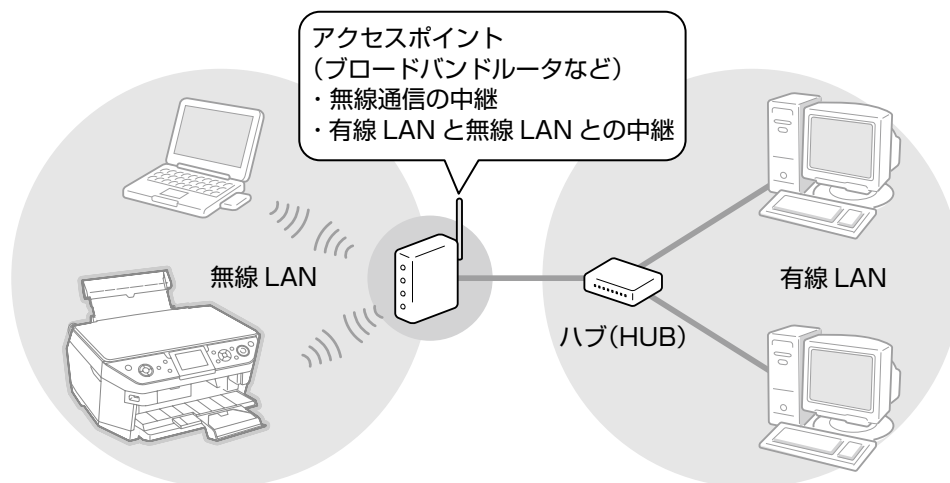
＜例＞ IP アドレスが「192.168.100.200」の場合

IP アドレス	あるパソコンは、192.168.100.202、他のパソコンには 192.168.100.203、本製品には 192.168.100.204 のように、サブネットマスクの「0」にかかる部分の数値を 1 ～ 254 の間で設定してください。
サブネットマスク	通常は、255.255.255.0 であれば問題ありません。プリンタを利用するすべてのパソコンで同じ値にしてください。
ゲートウェイ（GW）	ゲートウェイになるサーバやルータのアドレスを設定します。ゲートウェイがないときは、設定の必要はありません。

＜例＞

ネットワーク用語の説明

■アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）

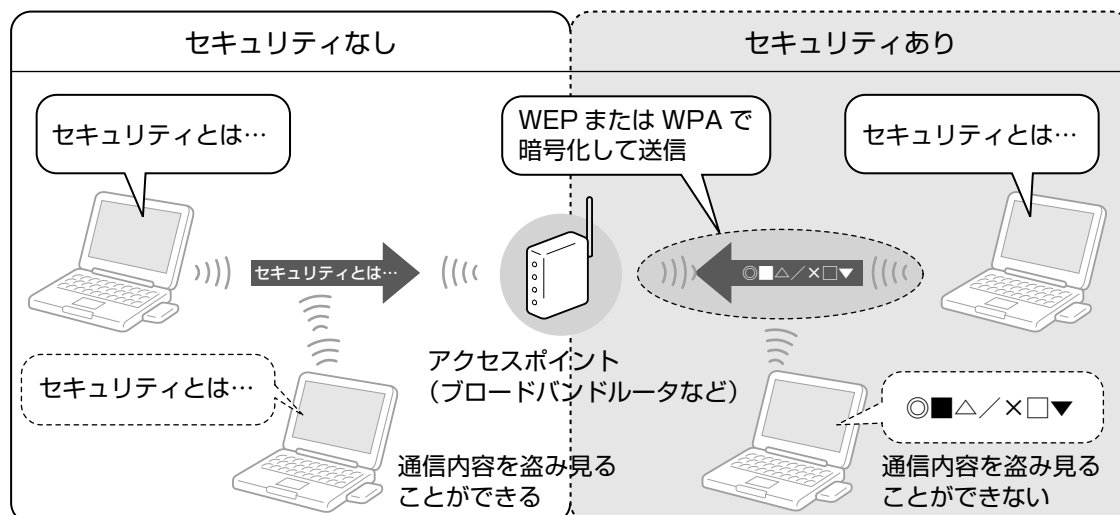
無線通信の橋渡しをする装置です。有線 LAN と無線 LAN の中継もします。

■アドホックモード

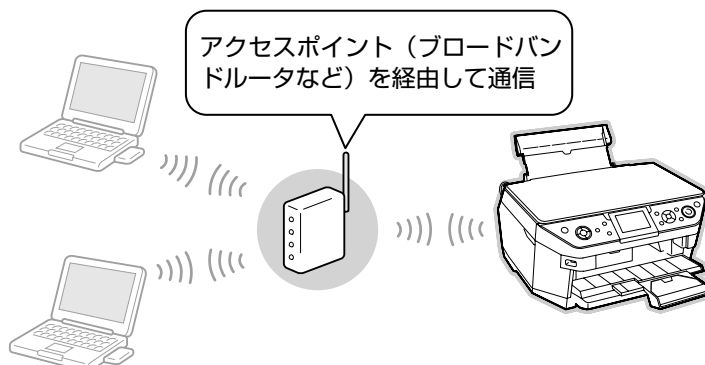
アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を経由せずに、デバイス同士が無線で直接通信する方式です。
アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を必要としない小規模な無線 LAN に適した通信方式です。
このアドホックモードに対して､アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を経由する無線通信の方式を「インフラストラクチャモード」と呼びます。

本製品をアドホックモードで使うには、付属の EpsonNet Config ツールを使って設定します。EpsonNet Config の使い方については、以下をご覧ください。
『ネットワーク詳細設定ガイド』（電子マニュアル）

■暗号化（セキュリティ）方式

一般的には「安全」や「防犯」を意味します。ネットワーク環境でのセキュリティとは､通信時に第三者が不正にデータを傍受したり改ざんしたりすることを防ぐための技術を指します。
無線 LAN での通信は第三者からの傍受が容易であるため、送信されるパケットを暗号化することで傍受者に内容を知られないようにします。暗号化技術には、WEP や WPA などの技術を利用します。

付録

■インフラストラクチャモード

アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を経由して、デバイス同士が無線などで通信する方式です。数多くのデバイスが接続しているネットワークに適した通信方式です。
このインフラストラクチャモードに対して、アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を経由しない無線通信の方式を「アドホックモード」と呼びます。

■サブネットマスク

TCP/IP（ティーシーピーアイピー）ネットワーク内のグループを識別するため、ネットワーク内の住所にあたるIP アドレスの一部であるネットワークアドレスを用います。
サブネットマスクとは、このネットワークアドレスに何ビットを使用するかを定義するための数値です。サブネットマスクはIPアドレス同様に32ビットの数値からなり、クラスCのネットワークでは24ビット(255.255.255.0)が標準で使用されています。

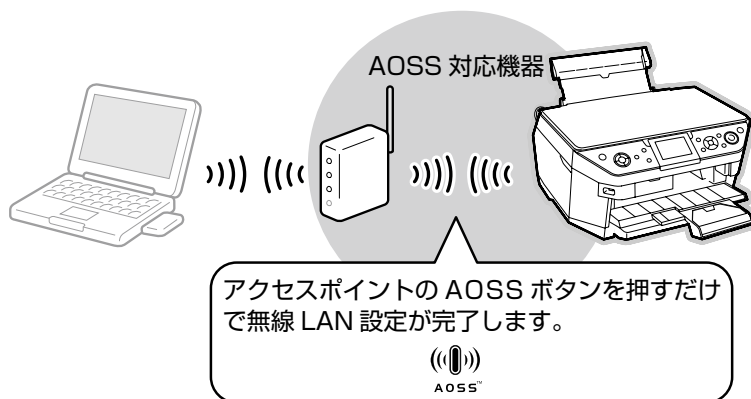
■デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークの外にあるデバイスと通信する際に、ネットワークの「出入り口」の役割を果たすルータなどの機器を指します。

■ルータ

ネットワーク上でやりとりされるデータを、他のネットワークに経由するための装置です。データをどの経路を通して転送すべきかを判断する、経路選択（ルーティング）機能を持っています。

■ AOSS（エイオーエスエス）

株式会社バッファローが開発した、パソコンを使わずに無線 LAN 設定やセキュリティ設定が可能なシステムです。バッファロー製の AOSS モード対応アクセスポイントに接続する際に、アクセスポイントの AOSS ボタンを押すことで無線 LAN 設定を簡単にできます。

■ DHCP（ディーエイチシーピー）

デバイスの IP アドレスやデフォルトゲートウェイなどの TCP/IP 関連情報をサーバに問い合わせて自動的に設定するプロトコルです。このプロトコルに対応したサーバを DHCP サーバと呼びます。DHCP サーバは、ネットワーク上のパソコンなどが起動したときに他で使用されていない IP アドレスを自動的に割り当てます。
DHCP を使うとネットワークの設定に詳しくないユーザーでも簡単にネットワークを利用できるとともに、ネットワーク管理者は多くのパソコンを一元管理できます。

■ IP（アイピー）

TCP/IP における､ネットワーク層のプロトコルです。ネットワークに接続しているデバイスの識別番号(アドレス)割り当てや､ネットワーク内での通信経路の選択(ルーティング)をするための方法を定義しています。インターネットは、IP によって相互の接続と通信を可能としています。

■ IP アドレス（アイピーアドレス）

IP のネットワークに接続しているデバイス 1 台 1 台に割り振られる識別番号（アドレス）を指します。主に 8 ビットごとに 4 つに区切られた 32 ビットの数値が使われており、「192.168.100.200」などのように、0 から 255 までの 10 進数の数字を 4 つ並べて表現します。
インターネット上での IP アドレス重複を避けるため、各国の NIC（ニック）という機関が IP アドレス割り当てなどの管理をしています。

■ MAC アドレス（マックアドレス）

Media Access Control アドレス。ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレス。

■ MAC アドレスフィルタリング（マックアドレスフィルタリング）

アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）が、各 Ethernet カードに固有の ID 番号である MAC アドレスを識別することで通信を制限するセキュリティ技術です。あらかじめ登録されている MAC（マック）アドレスを持つデバイスのみ通信を許可します。

■ SSID（エスエスアイディー）

無線通信時の混信を避けるために付けられる識別子（ネットワーク名）です。ESSID と呼ぶこともあります。
IEEE 802.11 シリーズの無線 LAN におけるネットワークで使用され、最大 32 文字までの英数字を用いて任意に設定します。
SSID は十分なセキュリティを備えていないため、別途 WEP（ウェップ）キーなどを設定する必要があります。

■ TCP/IP（ティーシーピーアイピー）

インターネットなどのネットワーク通信で広く使われているプロトコルです。

■ WCN（ダブリューシーエヌ）

Windows Connect Now。Windows XP Service Pack2（SP2）および Windows Vista の機能で、USB フラッシュメモリを使って無線 LAN の接続やセキュリティを自動設定できます。

■ WEP キー（ウェップキー）

無線通信における暗号化技術の 1 つです。決められた WEP キーを共有する者同士のみが無線通信できます。
本製品では 64bit と 128bit の 2 種類の WEP キーをサポートしています。

	ASCII	16 進数
WEP-64bit（40bit）	5 文字	10 桁
WEP-128bit（104bit）	13 文字	26 桁

ASCII 文字を選択した場合は半角英数字記号（大文字と小文字は別の文字として扱われます）、16 進数を選択した場合は 0 ～ 9 の数字および a ～ f のアルファベットで入力します。

■ WPA（ダブリューピーエー）

無線 LAN の業界団体 Wi-Fi Alliance が発表した、無線 LAN の暗号化方式の規格です。
今まで採用されてきた WEP（ウェップ）の弱点を補強し、セキュリティ性を向上させています。
本製品では WPA-PSK（TKIP/AES）をサポートしており、パスワードで入力できる文字は、8 ～ 63 文字の半角英数記号となります。（パスワードでは、大文字と小文字は別の文字として扱われます。）

■ WPS（ダブリューピーエス）

無線 LAN の業界団体 Wi-Fi Alliance が発表した、無線 LAN 機器の接続とセキュリティの設定を簡単に実行するための規格です。
本製品では、プッシュボタン方式と PIN コード方式の 2 種類の設定方式に対応しています。

ソフトウェアライセンスについて

オープンソースソフトウェアについて

本製品は当社が権利を有するソフトウェアのほかにオープンソースソフトウェアを利用しています。

本製品に利用されているオープンソースソフトウェアの一覧、およびそれらのソフトウェアのライセンス条件は、本製品に付属の『ソフトウェア CD-ROM』の以下のファイルにてご確認ください。
￥MANUAL ￥JPN ￥ETCG ￥LICENSE.PDF

本製品に添付されている取扱説明書は、当社のホームページからダウンロードできます。
＜ http://www.epson.jp/support/copy/manual.htm ＞

その他のライセンスについて

Info-ZIP copyright and license

This is version 2005-Feb-10 of the Info-ZIP copyright and license. The definitive version of this document should be available at ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html indefinitely.

Copyright (c) 1990-2005 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:
Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley,Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith,Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales,Mike White

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
- Redistributions in binary form (compiled executables) must reproduce the above copyright notice,definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary(including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.

- Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, and dynamic, shared, or static library versions--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or of the Info-ZIP URL(s).

Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip,"
"Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネットFAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶カンタンな質問に答えて会員登録。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。
【電話番号】　050-3155-8022
【受付時間】　月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）
◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-589-5251へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス㈱	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター：0263-86-7660　・東京修理センター：042-584-8070　・福岡修理センター：092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。
【電話番号】　050-3155-7150
【受付時間】　月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日は除く）
◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しており、一部のPHSやIP電話事業者からはご利用いただけない場合があります。
上記番号をご利用できない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけください。

○スクール（エプソン・デジタル・カレッジ）講習会のご案内
東京　TEL(03)5321-9738　　大阪　TEL(06)6205-2734
【受付時間】月曜日～金曜日9:30～12:00/13:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊スケジュールなどはホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/school/

○ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

○消耗品のご購入
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2007年9月現在）

○FAXインフォメーション　エプソン製品の情報をFAXにてお知らせします。
札幌(011)221-7911　東京(042)585-8500　名古屋(052)202-9532　大阪(06)6397-4359　福岡(092)452-3305

○エプソンディスクサービス
各種ドライバを郵送でお届けします。お申し込み方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

コンシューマ（SPC）　2007. 9

PM-T960　ネットワーク設定ガイド

EPSON

411055900

Printed in XXXXX XX.XX-XX XXX